

ヤマハニュース 10

YAMAHA NEWS No.352 1992



特集●SRV250秋攻勢// 2

メインターゲットはヤングだ

列島ぐるり●こんにちはヤマハ紀行⑦ 16

十和田 来たるべき秋を想う旅

NEW MODEL●IFMA '92出展モデル誌上公開 18

GTS1000・A / YZF750R・SP
TDR125

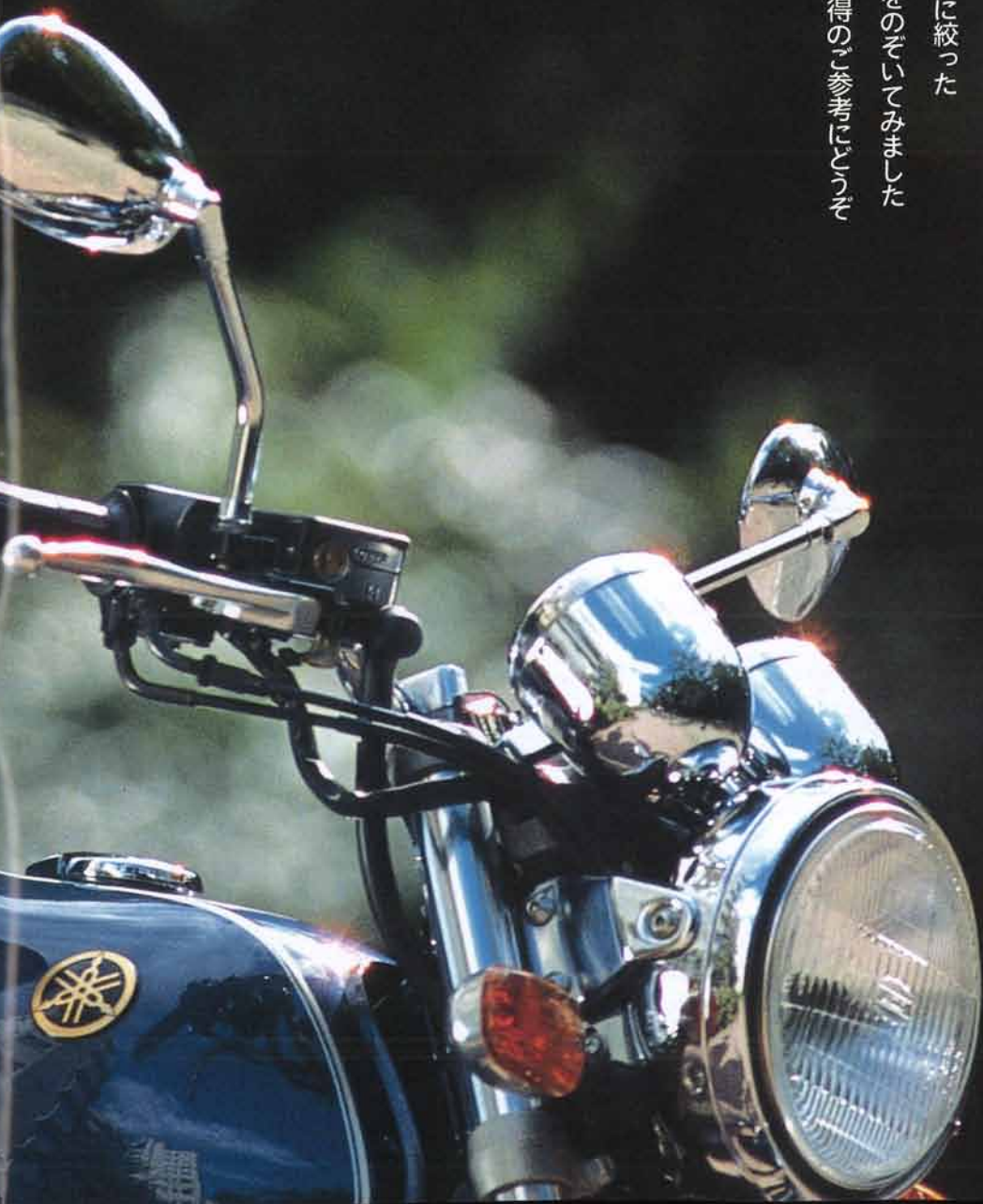
特集 SRV250 秋攻勢

メインターゲットはヤングだ!!

おっ／ おしゃれに乗ってるね オジさんライダーもしぶくて似合っているけど
フレッシュライダーとSRV いいねえ、爽かな気持ちにさせてくれるよね
SRV250がお客さまの手に渡ってはや6ヵ月 アフターフォロー万全ですか

今号は深まる秋 メインターゲットをヤングに絞った

SRV商戦を探るとともに20代の若者のSRVライフをのぞいてみました
もっと広げようトラディショナルVツイン／ ヤング獲得のご参考にどうぞ





効果的な広告活動とデータの活用で 大学生をキヤッチ

過去のデータをもとに 大学生にアプローチ

『YSP静岡中央』さんの商圏にある静岡大学。この学生は同店のスポーツ車の拡販には大きなウェイトを占めている。最需要期はもちろん春の入学シーズンであるが、秋もまたスポーツバイクの需要がのびる時期でもある。

「夏休みでお金貯めるんでしょね。予算ギリギリの線で自分の欲しいバイクを探しにくるんですよ」

新村社長はこの層をSRV250のターゲットにしようと、10月に行なわれる大学祭のパンフレットの表3ページ（裏表紙の裏側）を買いとり、店の広告と一緒にSRV250の写真を大きく入れることにした。発行部数は6千部。これを手にする学生は即ターゲットとなるわけだ。

とても効率のよい広告活動ではあるが、問題は学生達の予算に上限があること。昨年のデータを見ると、この時期は中古車の需要が多く、50万円前後のスポーツ車が大半を占めていることがわかった。SRVを新車で購入すると約10万円のオーバーとなる。



店内の展示はリフトを用いて視線の高さに。もちろん3色とも揃えてある



駅近くの地下商店街の電飾看板は中の写真が入れ替えられるので、季節に応じた広告展開が可能

広告活動を基盤にSRVの魅力伝える

YSP静岡中央さん(静岡県静岡市/新村耕三社長)

「来店してくれば、説得する材料はあります。差額が10万円ならクレジットをすすめるのもいいし、これはまだ具体的には動いてませんが、用品とのセット販売も効果が大きいでしょう。雰囲気こだわるとオートバイですからね」

具体的にはまだ、というものの、SRVの同色系のヘルメットなどを展示するなど。準備はすすんでいるようだ。

長期的なスタンスで SRV250を育てる

「これまでにSRV250を購入したり、店頭に見に来たお客さんの話を聞くと、どうも知名度が低いというか、他車と比べてインパクトが弱いような気がします。モノがいいだけに惜しいよね。発売当時の話題性を維持するためにも、これから宣伝広告活動が重要になってくると思います」

発売以来、予約セールをベースに9月までに7台を成約に結びつけた新村社長のSRV250に対する評価は高い。ヤマハの軽二輪の商品構成、そして価格帯を見ても期待できるモデルであり、対象となるユーザーも初心者からリターン層、レプリカに飽きてきたヤング層と幅も広く、会話しやすいことがその理由であ



SRV250 に決めました

ユーザーからの声

SRVライフ 満喫しています

佐々木美保さん
(神奈川県横浜市・21歳・看護婦)

私はまだ教習所に通っている時に、SRVが発売されたんです。バイク屋さんに行った時、初めて見たんだけど、そのシブさがすごく気に入って、まだ免許なかったんですけど契約しちゃったんです。もともとSRみたいなバイクに乗りたかったんですけど、400だと初心者には大きすぎて使いきれないと思って250でさがしてたんです。そんな時にSRVが出てくれたんですよ。最初の頃は、SRVでもちょっと大きいかと思ったんですけど、すぐになれました。それだけSRVって乗りやすいんですね。この前、富士山へ行ってきたんですけど、すごく気持ちよくて最高でした。これもSRVだったからだと思います。





「何度も来店してから購入を決めるお客さんが多い」と新村社長。店舗前に置かれた試乗車は会話のキッカケづくりにも有効



YSP静岡中央

静岡県静岡市南安倍1-5-14

- 立地：JR静岡駅から西に車で5分ほど。国道1号線と東名高速静岡ICからのびる幹線道路の交差点に立地。
- 商圏：スポーツは店舗を中心に半径10km程だが、西側には安倍川があるので、店舗の東側、国道1号沿いにのびている。
- 客層：20代の社会人が中心。静岡大学の他市外の大学生も訪れる。
- 告知活動：年4回の折り込みチラシ、地方新聞・情報誌への広告など

るといふ。売れているモデルは雑誌の広告や記事でのとりあげなど、人目に触れる機会が非常に多い。売れるから、なのか、だから売れるのかはともかく、継続的な広告活動の必要性を感じた新村社長。同店では8月から、JR静岡駅につながる地下商店街にある電飾看板に広告を入れ始めた。あなたのバイクライフ応援します」と書かれた広告には、今一番売りたい商品であるSRV250の写真を埋め込んだ。もちろんこれにはYSPの知名度をあげるという目的も含まれている。一流デパートや有名チェーン店の広告が並ぶなかに入れることで、バイクショップのイメージをあげられるのではと考えている。このほか地方限定の情報誌の取材に際し、店内の写真撮影の際にSRV250を目立つ位置に置いたり、自店のツーリングには社長自らが試乗車で出かけるなど、露出度を多くする努力を行なっている。

「これらのことはすぐ答えがでるものじゃないですけど、必ず続けていこうと思っています。一気に売れずとも、商品を育てていくために。そう、SRのようにね」

一度は降りたけど、SRVは長く乗りたい

望月守さん
(東京都練馬区・23歳・自営業)

16歳で免許を取ってRZ350に乗っていたんですが、2年程で降りたんです。それから原付に乗る程度で、普通免許を取ってからは4輪だけになりました。

1年程前に友人から中古の400ccを譲ってもらったのは、自分の周りにライダーが増えたことに刺激されて。でも、そのバイクが調子悪くて。SR400に買い替えようと考えたとき、雑誌にSRV250が載っていたんです。評価も高かったし、経済的にも有利。車検切れでオートバイから遠ざかることもないしね。

デザインは気に入っているし、心配していたパワーも思ったよりあるしね。SRV250なら今度は長くオートバイに乗っていられそうです。

学生の私でも買える価格が嬉しいわ

野口恵美子さん
(東京都瑞穂市・20歳・学生)

中学生の頃からバイクに乗りたいと思っていたのですが、何となく免許を取り損なってしまっ……。車の免許の方が先になっちゃった(笑)。でも、車は義務的ですけどバイクは本当に乗りたくて取っただけです。

ただ、どんなバイクがあるのかよく分からなかったんで、とりあえず近所のYSPに行ってみました。そこで、何てキレイなバイクがあるんだろう、と思って見たのがSRV250だったんです。価格も学生の私でも何とか手が届く範囲だし、展示車に乗ってみて、小柄な私でも十分乗れそう。何よりお店の人が積極的におすすめしてくれたので購入に踏み切りました。とっても満足しています。

特集
SRV250秋攻勢



通りすがりに気軽に触ってもらえるよう、店頭の広々としたオープンスペースにSRVを展示。また、マクドナルドの出入口側に向けたショーウィンドーから最も見やすい位置にもう1台配置し、さりげなくアピール



立地、商圏環境が生んだ 平均年齢24〜25歳の若い客層

京都―大阪間を結ぶJR京都線の、ほぼ中間点にある摂津富田駅から歩いて約5分、国道171号線に面した一画にあるのが「YSP高槻」さん。

同じ敷地内、すぐ隣りにはハンバーガーチェーンのマクドナルドもあるためか、国道とマクドナルドに向けた2面を総ガラス張りにした店舗周辺の人通りは平日でもかなり多く、ショールームに並んだマシンの注目度も高い。

「土、日になると、ウチのお客さんが店に入ってくることでさえ大変なくらいまわりは混雑しますよ。

そうした人たちが、ウチの店まで入ってくることは少ないけど、とりあえず見てもらえるんでプラスですね」と長崎店長は話す。確かに、店の認知度を高める効果はありそうだ。

しかも、摂津富田駅の近くには、明治製菓や松下電工の工場、サンスター本社をはじめさまざまな企業があり、京都や大阪へのベッドタウンでもあることから多くの会社の独身寮が点在している。

そのために、通りすがりに見たり、同じ寮の仲間から紹介されたという若い社

タテ、ヨコのつながりが強い独身寮を核に、SRVファンづくりを

YSP高槻さん(大阪府高槻市/長崎教司店長)

会人のお客さまが多く、特にスポーツ車では9割を占めているのだという。

「高校は三ナイがあるし、大学が近くにありわけでもないの、自然と20代の社会人が多くなるよね。こちらも、独身寮にいますお客さんには意識的にDMとかを欠かさないようにしたり、アプローチは力を入れてる。先輩、後輩、同僚どうしと、クチコミが一番期待できるんです」

SRVの魅力をお客さまに「発見」させる試乗会

SRV250について、長崎店長の評価は「もともとベーシックな、ロングセラーが期待できるクオーター」だ。

「ある大学生のお客さんが、SRVを買った時の理由はね、今、学校でSR400がはやってるから次は必ずSRVだと思っただけ。まあ、そうストリートにつながるわけないだろうけど、少なくとも売れ方はSRと似てるんだよ。つまり、コレだノっていうインパクトがないから、一気にドンと何台も売れるんじゃないかと、ジワジワと良さが知られて長くいつまでも売れ続けるバイクなんだ」

そこで、即、売りに結びつけようとするのではなく、あくまでSRV250の

走ることが楽しめる 理想のバイクです

門倉輝知さん
(千葉県船橋市・20歳・会社員)

SRVの気に入ったところは、まずスタイルです。250の中で一番かっこいいと思いますよ。それからお店にあった試乗車に乗ってみて、走らせた感覚も自分のイメージとぴったり。走ることが楽しめるバイクって感じですね。今までRZ250Rに乗っていたんですが、スピードを出すこととか、2ストのすごい加速感とかはもういいやって思うようになってきたんです。今度は落ち着いて乗れるバイクが欲しいなと思い、SRVに買い替えました。SRVだったらロングツーリングに行ってもいいなって思いましたよ。あと、このバイクはモデルチェンジをしないでSRぐらい長く続いてほしいです。

デザインからは想像できない 乗り味に満足

藤野昌也さん
(東京都板橋区・22歳・会社員)

SRV250が気に入りだしたのは、ある専門誌の評価を読んだから。基本動作をしっかりと行わないと普通に乗りえない。みたいなことが書いてあったんです。これは乗りこなさないとわからないかなと思って早速試乗。その通りのむずかしさというが、でもうまく走れたときの満足感が気に入って購入しました。

走るのが好き、というすぐレプリカを想像するけど、SRVだって走りを十分に楽しめる。最高速とかはもちろんかなわないけど、実用回転はこっちがマルチのデザインやサイドカバーなど、細かい作り込みもしっかりしている。落ち着いた雰囲気がありながら乗り手に技術を要求してくれる。デザインから想像できない乗り味がSRVの魅力ですよ。

試乗効果をクチコミで拡大！ ターゲットは会社独身寮



お客さまの層が圧倒的に若く、長崎店長(左)とほとんど年齢差がないため、店長自身、お客さまと同じような服装で「付き合しやすい店」を印象づける

評価を定着させ広めることを目的としたポディブロー作戦を進めてきた。

方法はいたってオーソドックス。まず一番目を引く正面入口のオープンスペースとマクドナルド側のウィンドー際に1台ずつ展示車を配置した。

そして試乗会。すでに6月6日、7日に1度、さらに9月15日から20日まで再度、SRVだけの店頭試乗を行なったが、それは大々的な告知をしたわけでもない。派手な店舗や展示を施したわけでもない。「せっかくだいいいものなのに、ヘンにあおり過ぎると逆効果をまねくことってあるでしょ？ それより、SRVって、実はすごく乗りやすく楽しいバイクなんだから。知ってた？」みたいに、お客さんにSRVの良さを「発見」してもらおうほうが、ずっとクチコミ効果も高くなる。」と長崎店長は自信あり気に話す。

そのなかから、すでに数台のSRV250がお客さまの手に渡り、しかも、発売から5ヵ月が経つ今なお、週末になれば必ず数人のお客さまがカタログをもらいに来店するという。

まさに、これからの勝負。先はまだまだ長い。



YSP高槻

大阪府高槻市大畑町23-10

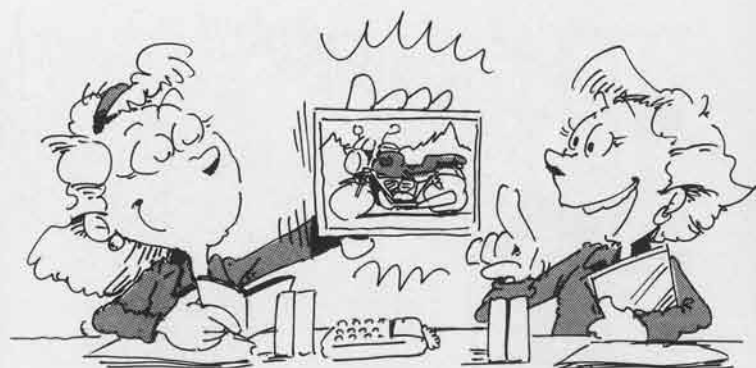
- 立地：JR京都線・摂津富田駅周辺に広がる住宅街を背景とし、国道171号線に面する好立地。松下電工など大、小の会社、工場が多く、そこに通うための寮も点在する。
- 商圏：スポーツ車で半径5kmほど。国道をはさんで北側に伸びる。
- 客層：20～25歳の独身社会人中心。
- 告知活動：折り込みチラシ15000枚くらい。DMは100～200枚。

写真を持ち歩いて友達に自慢しています

大谷裕美さん
(大阪府茨木市・23歳・会社員)

一刻も早く手に入れたので予約して発売当日に買いました。SRV250のクラシカルなスタイルと緑色のボディカラーが気に入ったの。友達もバイクに乗っているけど、それと比べたら音とか振動とかはだんぜんこっちのほうがいいわ。走ってみるとその違いがよく分かるの。

いつもSRV250の写真を持ち歩いていて友達に自慢しています。本当にホレ込んだんです。今までは車に乗っていたけど、バイクにはもっと違う楽しみがあるんじゃないかなと思って免許を取ったんです。それから、もう走るのが楽しくてよくツーリングに行きます。のんびりと気持ちよく走りたいんです。





「話しているだけでは伝わらないし、乗ってもらっても伝わらない。両方のコンビネーションが大切なんです」と鈴木社長

リフレッシュした店舗が客層を若返らせた!

YSP小平さん(東京都小平市/鈴木 昇社長)

平均年齢23歳のSRVユーザー リニューアルは大成功!!

8月初旬のデータだが、『YSP小平』さんでSRV250を購入したお客さまは合計で7人。その内訳は社会人や学生などさまざまだが、平均年齢が23歳と非常に若い。みなさんのお店のお客さまと比べても、かなり年齢層の低いライダーであることが分かるだろう。

それではなぜ、このお店でSRV250が若いライダーに選ばれているのか。「とくに若い人をターゲットにしているわけではない」と鈴木社長は言う。結果として若い方を選ばれているだけだ、と。

同店は昭和61年にYSPとして新規オープンしたお店。以来、その広い敷地と大きな店舗を利用して、数を並べて売る「ご商売を展開してきた。あそこに行けば必ずある」という売り方だ。しかし、その展示方法にも問題がないわけではなかった。詰め込むだけ詰め込んだ展示車を客観的に見ると、決して商品性の高さがアピールできていなかったのだ。

そこで今春、お店のリニューアルの際に展示車両を70%まで減らし、一台一台のディスプレイにエネルギーを注いでみた。その結果、ゆとりの空間に生まれ変わった店内は、鈴木社長自身の目から見ても「入りやすくなった」という。

お客さまの平均年齢が29歳という同店では、いかに若いライダーに来店していただくかが長年の課題だった。それが店

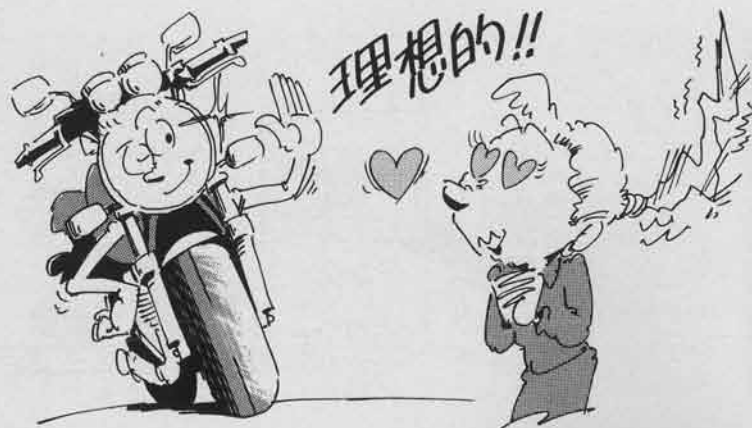
SRVユーザー 私の理想よ

柴田和枝さん
(千葉県船橋市・23歳・会社員)

友達がみんなバイクに乗っていて、とっても楽しそうなんです。私はタンデムしてツーリングに連れて行ってもらったりにしていたのですが、そのうち自分でも走りたいと思うようになり4月に免許を取ったんです。

バイクは乗りやすく小回りがきいて、気楽に乗れるモデルを探したんです。そうしたらお店でSRV250と出合っただけで、私の理想の型だ!!とさっそく注文しました。実際に乗ってみても期待通りで初心者でもコーナーがしっかり曲がれるし、無理なく運転できるって感じですよ。乗っていてもキモチイイですよ。毎週ツーリングに出掛けて楽しんでいます。

理想的!!





YSP小平

東京都小平市小川東町1-11-11

- 立地：都市から郊外に抜ける新青梅街道、青梅街道に挟まれた府中街道沿いに立地。ツーリングルートの入口でもある。
- 商圈：スポーツ車は店舗を中心に、半径10km前後。しかし遠方からのお客さまも少なくない。
- 客層：30歳前後の社会人が中心。
- 告知活動：折り込みチラシ、DMなど



安全運転講習会の会場にもSRVを持って行き、その場で試乗もしてもらった。翌日成約というパターンも少なくない



リニューアルした店舗が、若いお客さまを呼び寄せた

特集
SRV250秋攻势

新装オープン店舗が呼んだ 平均年齢23歳のSRVユーザー

舗のリニューアルを試みたと同時に、わずかながら糸口が見つかったのである。これは平均年齢23歳という若いSRVユーザーと無関係とは言えないだろう。

SRVは蒸気機関車なんだ 速く走ることより面白い世界

お店に足さえ運んでいただければ、それから先は鈴木社長の商品知識がものをいう。「ハッキリ言って、SRVの指名は数えるほどしかない」と話しつつ、迷ってお客さまにSRVを判断させているのだから、そのセールストークの力がうかがい知れるというものだ。

「まず、お客さんに必ず話すのは、SRVは蒸気機関車だということです。速く走るためのものじゃないよ、ということをお客さまに分かってもらう。その上で、速く走ることより楽しいことがあるんだという事実を知ってもらうように努力してます」

その例えが面白い。「コンコルドに乗ってヨーロッパを渡り歩いているビジネスマンが、週末にメッサ―シユミットで空を飛ぶ時代なんだよ」「いま新幹線乗って面白いと思う？ 思わないよね。それがD51だったら喜んで乗るでしょ」

説得されるのではなく、思わず納得してしまう。ここに鈴木社長のセールストークの秘密がある。

先日もあるスポーツ車に乗ったお客さまが点検に訪れた。その際、何気なく前述のような話をしたところ、ぜひSRVに乗りたいたいという。さっそく試乗車に乗ってもらったところ、大感激して帰ってきたそう。

「こういうバイクの世界ってあるんだね。楽しかった」と。

そのお客さま、翌日再びお店に来て、「いまのバイクは手離せないから、女房用に」とSRVを購入されたという。

「面白いのは、2サイクルのユーザーがSRVに興味を持ってきていること。ないものねだりということなんだろうけど、意外にTZR250Rからの代替なんてセンもあるかもしれないね。そういうケースが発生した時に、なぜ振動を消して鼓動だけが残せているかといったような商品知識が、最終的なキメ手になるものなんです」

年齢層を超え、バイク本来の楽しさが味わえるSRV250。鈴木社長はこんなモデルだからこそ若いお客さまに乗ってもらい、息の長いバイクファンを育てたいと考えている。

古いジーンズみたいな 味をだしていききたい

高橋 輝さん
(東京都葛飾区・21歳・学生)

SRVを初めて見たのは、去年の東京モーターショーです。シングルシートの付いたショーモデルが展示されていて、心の底からカッコいいと思いました。友達に「若いくせに」ってからかわれるんですけど、僕はなぜか古いバイクに魅力を感じるんです。SRVは古いわけではないですけど、僕の感性にピッタリとくるんですね。

まだ納車されたばかりで何も手をつけてないんですが、少しずつドレスアップしながら、あのショーモデルのような個性をつけていきたいと思っています。できるだけ長く付き合っ、走って、磨いて、古いジーンズのような味がでてくれたら嬉しいですね。

以前からバイクらしい バイクが欲しかった

内藤尚子さん
(大阪府茨木市・21歳・会社員)

オフロードでも、レブリカでもないバイクタイプっていうんですか。バイクらしいバイクが欲しくて、欲しくて探していたところ、バイク雑誌の広告でSRV250を見つけました。これだっと思わず叫んだほどなんです。迷わずカラーは大好きなグリーンで決まりました。

SRV250では、ツーリングに行ったり、通勤に利用したりしているんですが、街乗りでチョコチョコ乗っても疲れにくく乗りやすいですね。トータルな意味でも満足しています。運転がもつと上手になったら近場じゃなくて、どこか遠くへ旅に出たい。

列島ぐるり

こんにちはヤマハ旅行



十和田

来たるべき秋を想う旅



青森県と秋田県とが境を接する十和田湖周辺は、数多くの温泉と美しい自然の景観に恵まれた東北地方指折りの観光名所である。

訪れる人々も1年を通じて絶えないが、

最もすばらしいのは3月から4月の若葉の季節と、

そして9月下旬から10月までの紅葉の時期。

今回は、そんな秋を間近かに控えた十和田へ旅に出た。



基地の町としてのカラーがより強く感じられる三沢市には、自衛隊と米軍御用達の店も数多く目につく。が、いずれも昔日の賑わいは影をひそめたという



いたずら描き、ではない。レッキとしたヘアサロンの看板。「まさかこんなになるとはね」と大家さん。観光客もよく写真を撮っていくという新しい「名物」になった



たまった夏の疲れを癒す 湯の里、自然郷へ旅したい

二三日、実にすばらしい好天が続いている。ふと見上げれば、わずかかすんだ青空に夏の終わりとはいえまだまだ十分ポリユームのある入道雲。秋の気配はまだ遠い。

というより、はつきりいつて強烈な残暑である。このまま東京においては、遠からず冷房病と夏バテでクタバってしまうであろう。

なんとかして転地療養、すがすがしい自然に包まれた土地で体力・気力の回復をはからねばならない。

そこで今回は、青森県・十和田湖あたりを

ゆっくり旅しながら、モーターサイクル事情にふれてみようと思いたったわけだ。

十和田湖は、かの八甲田山、八幡平に連なる奥羽山脈の間にポツカリと口をあけた二重式カルデラ湖で、面積59・8km²、全周44kmにも及ぶ。周囲は広く十和田・八幡平国立公園に指定され、湖面から流れ下る奥入瀬溪流をはじめとする豊かな自然や温泉資源に恵まれた絶好のリフレッシュスポットといえよう。

住まは日の本、遊ばは十和田
歩きや奥入瀬三里半

と詠んだ明治の文人・大町桂月は、初めてこの地を訪れて以来すっかり気に入ってしまった。薦温泉近くに本籍まで移して永住したほどである。

しかし、そのおかげで十和田の自然の美しさが広く知られるようになったと聞いた。今では東北地方屈指の観光名所となり、季節を問わず訪れる人も数多い。

特に、9月下旬から10月にかけての紅葉はことばに尽くせぬほど美しく、すばらしい鮮やかさだという。あいにく、私が訪ねたのはまだ晩夏。往く夏を惜しむにはいいけれど、秋らしい光景を期待するにはあまりに早過ぎたのが残念ではあった。

四季折々の自然と遊ぶ 十和田市民は幸せもの？

十和田湖へのアクセスルートは、大きく分けて4つある。ひとつは青森市から八甲田山を越えて焼山、奥入瀬経由で入る「北ルート」。もうひとつが東北自動車道で大鱈・弘前ICで降りて黒石から入る「西ルート」、さらに東北自動車道・十和田ICから国道104号線、103号線を通り発荷峠へ出る「南ルート」。そして東北自動車道から八戸自動車道へ別かれて八戸市、十和田市を抜け奥入瀬、十和田湖に至る「東ルート」だ。

それぞれ行き帰りにどういうところに立ち寄るか、などルート選択はまったく異なってくる。どれが一番いいなんていえるわけではないが、奥入瀬の流れを楽しむにはやはり下流からたどってみたいと考え、今回は「東ルート」で行くことにした。

通常、十和田湖観光の東の玄関口といえば三沢市である。空路の三沢空港、JR東北本線の三沢駅を起点に、十和田観光電鉄や観光バスが発着し、今も春や夏休み、紅葉の頃になると多くの観光客で賑わうという。

しかし、クルマ社会が発達し、国道4号線や八戸自動車道を使ってツーリング、ドライ





ブで十和田湖へやって来る人が増えた昨今は、三沢市を経由せずに十和田市へ抜けるほうが便利のため、しだいに『東の玄関』としての役割は十和田市に移りつつあるようだ。

そのうえ、十和田市は三沢市のような幹線鉄道や空港を持たないかわりに、国道4号線、45号線、102号線という幹線道路が交差する要衝にあたるため、市街中心部は商業都市として発展する可能性も秘めている。

「もともとは、江戸時代の末に新渡戸伝さんて人が奥入瀬川から水を引いて開いた農業の町なんだよ。その時、先見の明があったんだねえ、町を幅の広い道路で基盤の目のように区画して作ったから、今でもそれほど苦労せずに近代化が進んでいる」のだと、20年ほど前からこの地で「商売を営む『三浦輪業十和田店』の狛守久男社長は教えてくれた。

余談だが、新渡戸伝という人物は5000円札の『顔』で知られる新渡戸稲造の実父。そこから、『5000円札の里』が十和田市のキャッチフレーズになっている。

さてこの十和田市、都市化してきたとはいえ、主な産業はやはり稲作農業。市街地をはずれると、一帯が広々とした田園に変わる。当然、狛守社長の客層も農家のお客さまが多く、市内シエアはメイトなどのビジネスや、ちょっとした移動用のスクーターが90%を占めている。

「ほかに交通機関が少ないからね、クルマやバイクは必需品ですよ。最近では八戸あたりまでショッピングに行く人も増えてるんで、どうしてもクルマに押し入れ気味ですけど。」

ただスポーツ車のお客さんは、クルマとバイクを別に考えてるからあまり影響はないかな。ウチのクラブ員なんて、オン、オフを1台ずつとクルマ、スノーモビルまで持つって

人がいるくらい。もちろん、経済的に高収入というわけじゃないし、ひとつのものを大事に長く乗る人が多いね」

北国だが、雪はそれほどでもない。「1日で30cmも積もれば大雪の部類」という。しかし、ちよつと山へ入るとスノーモビルにびつたりのパイロードが探せるし、湖や海も30〜40kmくらい走れば行ける。自然を相手に遊ぶにはもってこいの条件が揃うわけだ。

「県内を転動であちこち回った県の職員とか、学校の先生なんか最終的にここへ落ち着く人が多くてね、それだけ住みやすいところなんですよ」と狛守社長は目を細めた。

同じ青森県でも、日本海側の山沿いにある町だとそうはいかない。ヤマハの青森営業所に努める営業担当者聞いた話では、少し前まで会社のクルマにはカンパンと毛布が常備されていたという。

すがすがしさ120% 夏の奥入瀬に秋を知る

太陽が西に大きく傾く頃、十和田市を出て、いよいよ十和田湖に向かう。今夜は、奥入瀬の手前にある十和田湖温泉郷でのんびりするつもりだが、少し時間が早いで湖に沈む夕陽でも眺めてみようと思つたのだ。

黄金色に輝く稲穂が、道の両側一帯を埋め尽くして風にそよぐ。西日に照らされて、まだかなり暑いものの、ようやく秋の近づきを感じることができた。

道は湖までほぼ1本道だが、上下線ともほとんどクルマはいない。夏休みが終わって、紅葉にはまだ早過ぎるというオフシーズンのせいでだろう。

週末や紅葉の季節に入れば、もう渋滞でびっしり動かず「バイクでなきゃとでも行けな



い」ほどだそう。

それでも、県外からの観光ルートとしては『東ルート』は回り道になるのでまだ少ない方なのだ。混まない時に来れてよかったな、と、ほんの少し思った。

そうこうしながら、1時間半も走つただろうか。奥入瀬を抜けて十和田湖の周回道路を子の口から時計回りにしばらく行くと、峠道の途中に瞰湖台という展望台がある。

対岸に沈む夕陽が湖面に映えて、十和田湖屈指の景観が望めるということで、すでに数台のクルマとバイクが集まっていた。しかし、あいにく西の空には群雲がかかり、



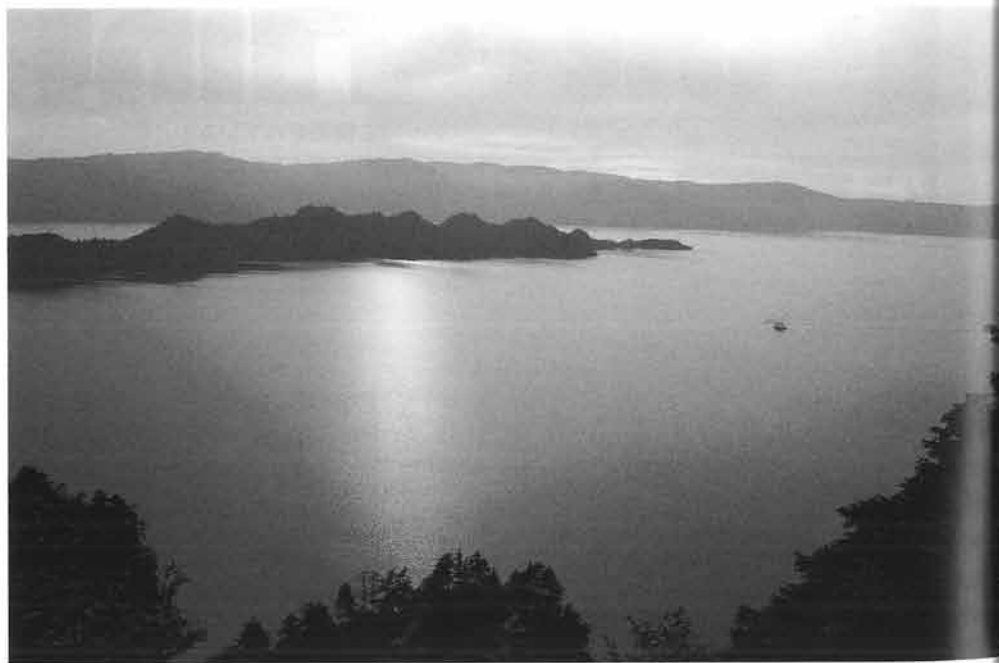
スクーターからビジネス、スポーツ、スノモまで幅広く扱う『三浦輪業十和田店』狛守社長は、サービスマンと2人で季節を問わず遊びに販売にフル回転

眺めはもうひとつ。しばらく待てば雲が切れるかも……。そう思つて、あて途なくタバコをふかしていると、がっかりして入れ替わり立ち替わりする人々のなかに、ひとりだけ同じようにじっと待ち続けるライダーがいた。

向うもやはり気付いたのだから、やがてカメラを差し出してシャッターを押してくれますか？ と話しかけてきた。

彼は東北大学の4年生。就職を前に、東北で最後の夏休みをバイクと過ごすつもりで来たという。

つついツイーリングの話で盛り上がり、宿へ入ろうと腰を上げた時には、もう陽がすつ



かり沈んでいた。彼とは、翌日奥入瀬でまた出会うことになる。

奥入瀬渓流は、十和田湖・子ノ口から端を発する奥入瀬川の下流14km、焼山までを指しており、流れに沿って通じる自然遊歩道と国道102号線から見て回ることができるが、時間さえ許すならぜひ焼山から遊歩道を歩いてたどってほしい。

朝、山のすがすがしい空気の中、ゆっくり小径を歩き始めると、ある時はたゆとうばかりにのんびり、またある時は激しく荒々しいうねりを見せながら流れる川の豊かな表情は、まさに暑さを忘れる涼やかさ。

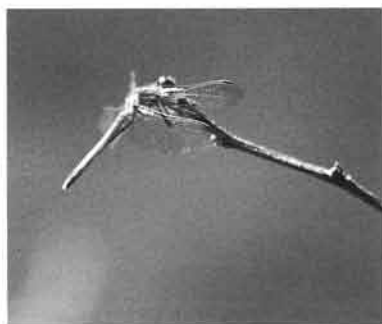
そして、陽が高くなるにつれコントラストを増す木洩れ陽の眩ゆいきらめきは、足どりさえ軽くするカンフル剤だ。

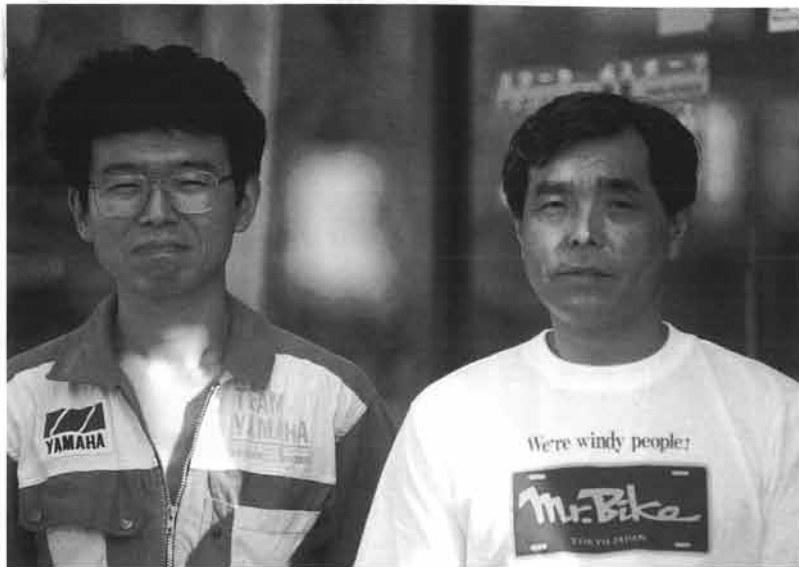
この風景が、秋の柔らかな陽射しと水面に舞うもみじに変わる時、それはまた新たな感動を呼び起こしてくれるに違いない。足許にからみ着くように群れ飛ぶ赤トンボを見ながら、もう少しあとで来ていればさぞかし……と残念な気がしたが、濃い緑の匂いと蟬の声がこだまする夏もいものだ。

特に、瀑布街道とも呼ばれる上流際は、小ささまざまな滝が目にもすがしい涼感を運び、夏ならではの味わいがある。

また、14kmを首尾よく歩ききれば、日頃の運動不足も一気に解消する一石二鳥の効果が期待できる。出っぱったお腹をなでさすり、ビールの飲み過ぎかなあ、などと夏休み後遺症に悩む某店某社長、店長さんには、ぜひお試しいただきたい。

バイクは、季節のにおい、色、風景をじかに体で感じることができる乗り物である。しかし、いつでも路傍に停めて歩ける身軽さが、その魅力を何倍にも広げてくれるのだ。





リニューアルした店舗で心機一転、「気持ちもリニューアルします」と向山社長(右)

アイデア拝見 Pint & Hint

店舗

日頃、お店の中でご商売されていると、客観的に店舗を見れなくなってしまうものです。その結果、急速なスピードで店舗は傷み、お店のイメージダウンにもつながってしまいます。みなさんのお店も、リニューアルの時期にきていませんか？

今月の達人

YSP綾瀬(東京都)
向山茂信 社長(45歳)

『YSP綾瀬』さんがオープンしたのは、87年5月。首都圏から北総地区への中継点、JR綾瀬駅より徒歩5分の商業地にオープンした。

当時、綾瀬駅周辺は急激な開発が進められており、近代的なビルディングや公共施設が続々と建築されていた。

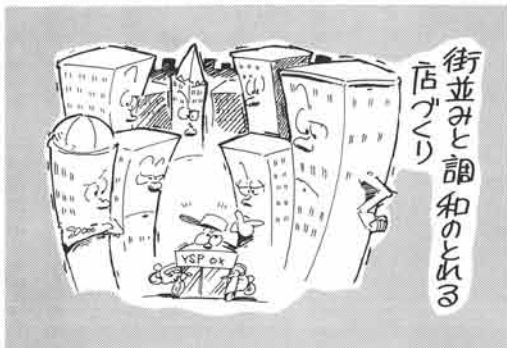
『YSP綾瀬』さんがテナントとして入っているマンションも、この開発ブームの中で建てられたものだ。

それから5年、ほぼ町並みが整った綾瀬駅周辺は、当時とは比較できないほど美しく様変わりを果たした。と同時に、『YSP綾瀬』さんも店舗の内

5年、このリニューアルが
オープン時の新鮮さを保つ

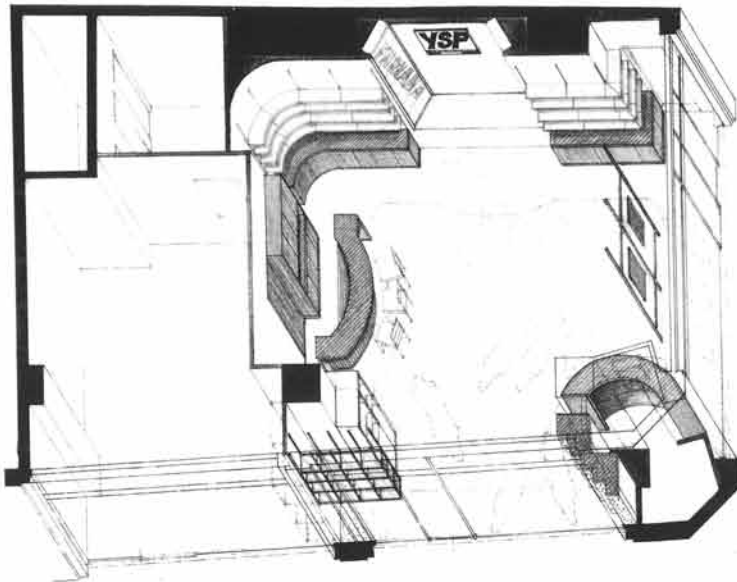


外装も一新した『YSP綾瀬』さんは、高層マンションの1階にお店を構える

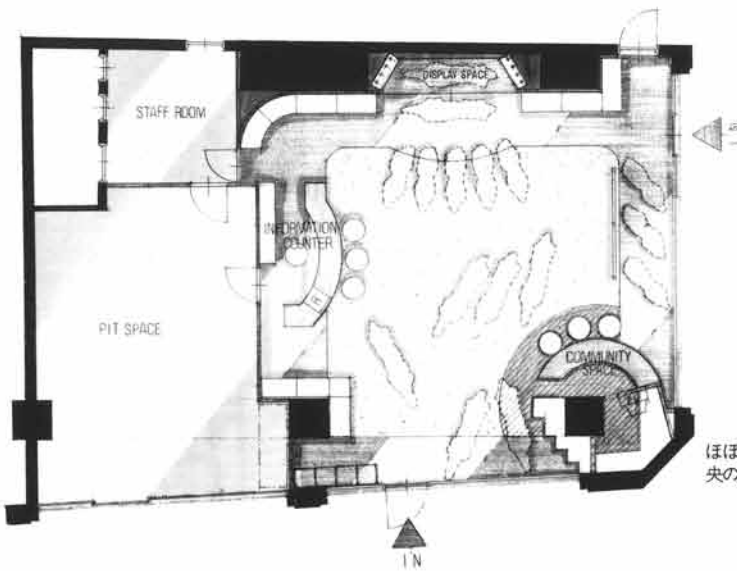


装をリニューアルし、新しい綾瀬の町に溶け込む顔に変身した。

「リニューアルのキッカケは、やはり



サービス工場を拡張し、ショールームを縮小した今回の店舗改装。ショールームはゆとりを持たせ、展示商品の質感を高めている



ほぼイメージスケッチのとりの改装を行なった。店内中央の展示スペース(上の写真)がディスプレイの核となる

**狭くなったのに「広くなった」
ショールームの効果的演出**

リニューアルにあたり、まず専門の店舗診断士に相談をした。プロの視点から冷静にお店を見つめてみようと考えたのだ。アドバイスの中には参考にしたものもあれば、予算の都合で活かせなかったものもあるという。

「実際に作業にかかったら、予想以上に店が汚れていたのが驚きましたね。特に壁、床、天井はかなり傷んでました。こういうのは、普段店にいると見えなくなってしまうんでしょうか……。もしお客さんには見えていたとしたら、と思うと恐いですね」

「リニューアルしてからのお客さんの

周辺環境との調和ですね。生まれ変わる町の中で、うちだけ取り残されるわけにはいかないでしょ？ バイク屋だから許される時代ではないですから」

「それと、うちが目指す商売をするためには、きれいな店舗がどうしても欲しかった。値下げ競争で勝負するのではなく、付加価値でうちを選んでもらうには、やはり高級感のある店構えが必要だったんです。」

今回のリニューアルでは、店舗の構造そのものにも手を加えた。それまで手狭だった21㎡のサービス工場を、45㎡まで拡張した。その結果として作業効率がグンと高まったという。一方、スペースを縮小したショールームは、展示車両を再検討することで台数を極力減らし、効率的なレイアウトの変更により対応している。



反応ですか？ 面白いのは実際は狭くなっているショールームを、みなさん「広くなった」と言ってくれるんです。いかに今までスペースを無駄に使っていたかということですが(笑)

リニューアルして約4カ月、その効果はまずサービス部門から表れはじめた。飛び込みの修理客が目に見えて増えてきたのである。広くきれいになったサービス工場を表面から見えないようにした社長のアイデアは、早くも実を結びはじめている。

「店舗を見て、ここなら任せられると思ってくれるのでしょうか、うちで売った車両以外が結構持ち込まれるんです。こうしたお客さんにも満足してもらえる対応ができれば、代替期のブランド・スイッチが期待できるんですけどね」

まずは成功のリニューアル。今後はマメにメンテナンスを繰り返しながら、5年後に再びお店に手を加える予定になっている。

原付免許おあずけのB君 新聞折り込みチラシと静かな対話

B君はついに原付ナンバープレートを手にした。「〇×町か、練馬区のほうがカッコいいよな〜」と溜め息ばかりついていたが、プレートをなでまわす表情といったら、ニヤニヤしっぱなし。その真っ白い小さなナンバープレートは、B君宅のリビングルームで、家族全員の熱い眼差しをあびているという。

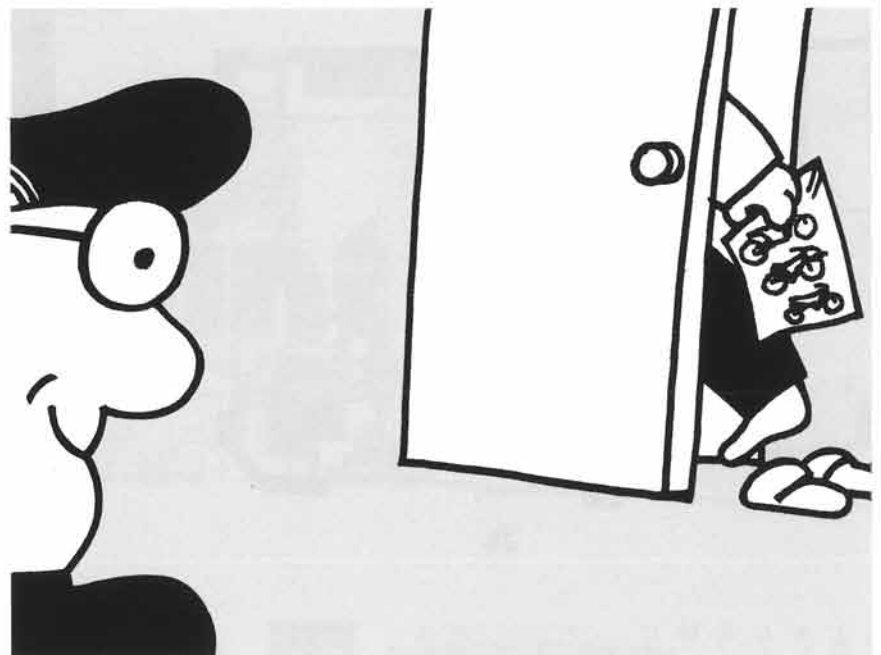
しかし、B君にはまだナンバーを装着するバイクがない。ましてや、免許証もまだ取得していない。「三ない」の大きな壁につきあたり、作戦変更を余儀なくされ、今に至っているのだ。新たな免許取得作戦は、B君を支援するヤマハニュースとしては、公表するわけにはいかないが、ともあれ、両親の強力な協力を得られていることだけはたしかなようだ。

そんなB君が、秘かに？ 楽しみにしているものに新聞折り込みチラシがある。近く（といっても15キロほどは離れているが）のYSP店が打つカラー印刷のチラシだ。

「秘かな楽しみ」が発覚したのは、トイレの中にYSPチラシが1枚入っていたことで、分かったらしい。ライダー予備軍、いや、バイク欲求層のしかも条件さえクリアすれば今日にでも乗りたいB君にとって、チラシはどのように受け止められているのだろう。

少なくともB君は、目ざとくYSPチラシを発見し、トイレの中に持ち込んで用を足した。そのチラシは、ヤマハのスポーツバイクで夏休みをもっと楽しく、というメッセージが伝わる爽やかな風景写真をバックに、オン・オフモデル、オンロードモデルが切り抜きで紹介されている構成で、A4サイズ。

その日（金曜日）折り込まれていた数十枚のチラシ群の中では、YSPチラシが個性的であった、とB君はいう。「やっぱり大きいバイクはいいなあ」と思ったともいう。



注目度、そして好感度ではこのYSPチラシは高い点数を稼いだことになる。B君の立場だと、チラシに対する反応はここまでで、ショップに足を運ぼう、という行動を起こさせるまでにはいたらない。「だって、免許もないし、ショップにいても何を話していいかわからない。でも、買う時は、行ってみたいな、とは思うよ、このショップへ。だって、バイクのチラシは、このショップしかはさまっていないんだものなあ。その気になるよ」

免許はまだ持たないが、バイクの面白さは父親からかじり知っている。そして、実際にツーリングも体験している。そんなB君が、定期的折り込まれる1枚のチラシに対してこんなこともいう。

「意外と大きくて、きれいだった。やっぱりチラシを新聞に入れるぐらいだから、しっかりしてるんだろうなあ」と。

テレビコマーシャルを流す企業は一流会社

的発想をB君世代は持っているという。その概念基準でB君は新聞折り込みチラシを受けとめていたらしい。チラシの主、YSPに仲間と行って確かめたところがおかしい。

「三ない」県にはB君と立場を同じくする欲求層少年は多いはず。その彼らにも夢を持たせる手段として、チラシは有効なのかも知れないね、と父親はいう。

B君の生活環境は、あきらかに二輪車の利便性に頼ることで、改善される面が多い。だからというわけではないが、多分、やがてB君はバイクとクルマをうまく使い分けるに違いない。

「バイクに対する熱が醒めて四輪に、というケースがあるけれど、息子はどうも違うみただよ」と父親は笑う。そんなB君とYSPチラシは、狭いトイレの中で静かなコミュニケーションをしている。

'92ディーゼルジーンズ スーパーバイク世界選手権シリーズ第10戦SUGO大会

世界最高峰の市販車レースを マギー、ピロバーノが盛り上げる



ヒート1 先行したD・ポーレンを、マギー、ピロバーノ、F・マーケルのヤマハ勢が追う。マギー、ピロバーノはトップを追いながらの激しい2位争いを展開。ピロバーノが一時2位を走るが再びマギーがこれをかわし、ポーレン、マギー、ピロバーノの順でチェッカー。

ヒート2 ポーレンをマギー、ピロバーノが追う。ピロバーノは徐々に遅れるが、マギーはピタリとポーレンをマーク。ラスト2周のシケインでしかけきれず2位に終るが、シケインでラインをかえ、最後の登りでポーレンをチャージするマギーの走りに観客が沸いた。



両ヒート2位。ヒート1は満足なレース、ヒート2は自分のミスで勝ちを逃した悔しいレースとなったマギー



シリーズフル参戦のピロバーノ。今季は転倒が多く成績がいまひとつだったが、総合3位に満足げな表情

④マギーと⑤ピロバーノはテール・ツー・ノーズのままトップのポーレンを追いつめた

1988年に世界選手権となったスーパーバイクレースも今年で5年目。今や市販車をベースとしたレースでは最も人気の高いカテゴリーに成長した。性能差の少ないレーサー同士の激しいバトルが毎ヒートのように繰り広げられるのが人気の主たるところ。レギュレーションがメーカー間の性能差をなくすのに大きな役割を果たしているのだが、これは決して去勢されたレーサーでのレースではない。ウェイン・レイニーをはじめとする、現在WGPで活躍するライダーのほとんどがスーパーバイク出身であることから、このレースがいかにポテンシャルの高いものか分かる。

しかしこの数年レギュレーションによる最低重量の設定が、2気筒勢に有利になっているといわれ続けている。事実、昨年、そして一昨年と2気筒のドウカティがシリーズタイトルを圧倒的な強さで獲得した。しかし今シーズンは、4気筒の日本車勢がまき返しに出た。そして第10戦、SUGO大会でも、FZR750Rを駆るK・マギーとF・ピロバーノが2気筒を追い回し、SUGOの観客を大いに沸かせ、またOWO1の高いポテンシャルをアピールしてくれたのだ。マギーが2位/2位で総合2位、ピロバーノが両ヒート3位の総合3位と優勝こそ逃したものの、ヒート1で見せたOWO1同志の激しいバトルや、ヒート2、ドウカティを追い回したマギーの走りは、世界選手権の名にふさわしい内容のものだったといえよう。



A'92 出展車

ヤマハ主要ニューモデル

ヤマハが、自信を持って投入する'93年ニューモデルです。
 "IFMA '92" (ドイツ・ケルン市/9月30日~10月4日)。
 どの商品もショー開催前から大きな話題を集めました。



GTS1000A



YZF750R

ヤマハ **GTS1000A** (A・B・S装着車) **GTS1000**

“リアルスポーツ”と“コンフォートツーリング”のふたつのニーズを調和させ、'90年代の新しいスポーツツアラーを提唱するモデルです。

乗り易さを徹底追求した水冷・DOHC・並列4気筒・5バルブエンジン、新開発のアルミ製オメガシェーブフレーム、片持ちタイプのニューフロントサスペンション、電子燃料噴射システムと三元触媒、エアロダイナミクスを追求した車体構成、A・B・S (GTS1000A) など、数々のニューフィーチャーが盛り込まれています。

■GTS1000A・GTS1000仕様諸元 ()内はGTS1000

- 全長2165mm ●全幅700mm ●全高1255mm (Low)、1320mm(High) ●軸間距離1495mm
- シート高795mm ●最低地上高135mm ●乾燥重量251kg(246kg) ●エンジン水冷・4サイクル・DOHC5バルブ・並列4気筒・1002cc ●内径×行程75.5mm×56.0mm
- 圧縮比10.8:1 ●最高出力100.6ps/9,000rpm ●最大トルク10.8kg-m/6,500rpm ●スロットルボディ型式AC34×4 ●始動方式セル式 ●点火方式トランジスタ
- 潤滑方式強制圧送ウェットサンプ ●オイル容量3.20 ●クラッチ型式湿式多板 ●変速機常時噛合前進5段 ●燃料タンク容量20ℓ ●緩衝方式(前)スイングアーム(後)スイングアーム ●ホイールトラベル(前)116mm(後)130mm ●ブレーキ(前)油圧式シングルディスク(後)油圧式シングルディスク ●タイヤサイズ(前)130/60ZR17(後)170/60ZR17

高い信頼性と洗練されたデザインで、欧州市場をリードする発表されたのはヨーロッパ最大のモーターサイクルショー。欧州ではトップシェアを誇るヤマハのニューモデルとあ



ヤマハスポーツ **TDR125**

キーワードは“アーバン・スーパーバイカー”。水冷・2サイクル・クランク室リードバルブエンジンを、高剛性デルタボックスフレームに搭載。ヨーロッパに多い石だたみ路の走行や歩道の段差乗り越えなどの市街地コースから、未舗装路コースまで幅広いエリアで快適な走行性を実現しています。

■TDR125仕様諸元

- 全長2120mm ●全幅840mm ●全高1295mm ●軸間距離1405mm ●シート高850mm ●最低地上高270mm ●乾燥重量120kg ●エンジン水冷・2サイクル・クランク室リードバルブ・単気筒・125cc ●内径×行程56.0mm×50.7mm ●圧縮比6.8:1 ●最高出力12.6ps/7,000rpm ●最大トルク1.3kg-m/6,500rpm ●キャブレター型式TM28SS ●始動方式セル式 ●点火方式CDI ●潤滑方式分離潤滑式 ●オイル容量1.2ℓ ●クラッチ形式湿式多板 ●変速機常時噛合式前進6段 ●燃料タンク容量11ℓ ●経衝方式(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●ホイールトラベル(前)180mm(後)180mm ●ブレーキ(前)油圧式ディスク(後)油圧式ディスク ●タイヤサイズ(前)100/90-18 56P(後)130/80-17 65P



YZF750SP

ヤマハ **YZF750R** **YZF750SP**

ヤマハファクトリーマシン“YZF750”の技術ノウハウを随所に投入したエキサイティング・スーパースポーツです。YZF750の仕様をダイレクトに継承することにより、最高速、出力、空力、空力値、重量などクラス最高レベルのスペックを達成し、高次元の走りを実現。あわせてスーパーバイクレース向けモデファイ時のハイポテンシャルを備えています。

また、クロスミッション、1人乗りシートなどを装着してレース出場時のポテンシャルを高めた“YZF750SP”をバリエーションモデルとして設定しています。

■YZF750R/YZF750SP仕様諸元 ()内はYZF750SP

- 全長2160mm ●全幅730mm ●全高1165mm(1145mm) ●軸間距離142mm ●シート高785mm ●最低地上高140mm ●乾燥重量194kg(191kg) ●エンジン水冷・4サイクル・DOHC5バルブ・並列4気筒・749cc ●内径×行程72.0×46.0mm ●圧縮比11.5:1 ●最高出力125ps/12,000rpm ●最大トルク8.2kg-m/9,500rpm ●キャブレター型式BDST38(FCRD39) ●始動方式セル式 ●点火方式トランジスタ ●潤滑方式強制圧送ウェットサンプ ●オイル容量4ℓ ●クラッチ形式湿式多板 ●変速機常時噛合式前進6段 ●燃料タンク容量19ℓ ●経衝方式(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●ホイールトラベル(前)120mm(後)130mm ●ブレーキ(前)油圧式ダブルディスク(後)油圧式ディスク ●タイヤサイズ(前)120/70ZR17(後)180/55ZR17



ライディング機能に軽快なトレッキング機能をプラス

ライディングシューズ **AY214** ¥17,800

ライディングに必要な各部パッドを装備する他、足首などの動きやすさを追求したライディングシューズとしての機能を備えながら、徹底した軽量化や靴底部にビブラムソールを採用するなど、トレッキングシューズとしての機能をも十分に充した新製品です。

アフターバイクの世界をも一足でカバーする“AY214”。どうぞご拡販よろしくお願いたします。



素材：表地/撥水加工ベロア、バリスターナイロン+ミクロテックス、インナー/テトロン
カラー：ブラウン、ネイビー
サイズ：22.5cm-27.5cm



さらに快適になって登場

ヤマハシステムヘルメット **SA-g**
¥33,800



カラー：白、黒、ミッドナイトシルバー
サイズ：S、M、L 規格：JIS-C種

ヤマハ独自の2WAYシステムと使い勝手の良さで好評を集める、“SA-i”のマイナーチェンジモデルです。

帽体にはFLEX-FRPIIを採用することで低重心、低重量、高強度を達成。また内装は固定タイプに変更し、カットイング、ウレタン素材の見直しとあいまってズレのない包み込む様なフィット感を実現しています。

さらにプッシュシステムは強度を旧型に比べ65%アップし信頼性を増すとともに、ヤマハ国内仕様モデルとしては初のJIS-C種対応のワンタッチバックルを採用。ツーリングモデルとしての機能を大幅に高めました。



FROM SAFETY

ライダー啓蒙イベントの成果を より高める会話の場をつくらう!



爽

かな季節の到来です。秋の風をたっぷり受けて、ライドオン!

まして、山はこれから紅葉が美しい季節。もみじ狩りツーリングに出かけるライダーも多いと思いますが、今年はこちら2〜3年減少傾向にあった二輪車の死亡事故が、1月から6月までの上半期で前年より11%の増加を示しており、状況はかなり厳しくなっています。くれぐれも安全運転をお願いしたいものです。

しかし、ライダー自身の間では、交通安全、安全運転への関心も着実に高まりつつあるのも事実で、それは『バイクの日』に開催された『人とバイクの友好会議・バイクフォーラム'92』（8月19日／東京・読売ホール）の盛況ぶりなどから垣間見ることができるでしょう。

このバイクフォーラムは、今年で3回目を迎えますが、今回も定員500名を超える550名の一般参加者が集まりました。

「ゆとりで楽しむバイクライフ」をテーマにゲストを中心としてバイクの利便性や楽しさ、

そしてそれを支えるモラル&マナー、交通安全などについて活発な意見交換がなされ、参加者の9割が「参加してよかった」と答えています。

具体的な声を拾ってみると、「バイクとの付き合い方にはいろいろあるとわかった」「改めて自分のバイクに対する接し方を考えさせられた」「ゆとり、の意味がわかった」「家族のことを考えれば、自然とスピードを落とす、という話から、これまでの自分と違うおとなの観点でバイクとの付き合い方を考えさせられた」などの感想が多く、もっと機会を増やせ

ばそれだけ数多くのライダーの啓蒙に役立つに違いありません。

た

だ、本当に必要なのは、ここから先のもう1歩。例えば「安全に気を付けて、スピードの出し過ぎはしないようにしましょう!」と考えた参加者が、それぞれの仲間たちにもその感動を伝えることができたなら、ひとつのイベントの効果は、2倍にも3倍にも広がります。

もし、お店のお客さまで、こういった集まりに参加した方がいたら、その時のことを話題にしてみるといいでしょう。きっと、予想以上に貴重な意見が续出して盛り上がるのではないのでしょうか。

「カタイ話には乗ってこないよ」と最初からアキrameず、ぜひ1度試してみしてほしいと思います。

お店のなかで出席した方がいればなおのこと。別に説教じみた話をする必要はありません。「こんな話が出たよ。どう思う?」くらいの問かけで十分。

そんな身近な意見交換の場が、高まりつつあるライダーひとりひとりの安全意識をさらに大きく広く高めていくのです。

第2回『ほのぼのバイクライフ』 フォトコンテスト入賞作品一例

特選「父と娘とトライアル」
(兵庫県川西市/武田博子さん)

審査委員長の織作峰子さんは「バイクに対してあまり良いイメージを持っていませんでしたが、今回の作品を通してバイクに対するあたたかい心、愛情を感じ、イメージが変わりました」と語った。



特選に選ばれた武田博子さんの作品

読んで、正しく、安全運転。

●原点にもう一度 ●初歩的な違反事故をなくしましょう。

わかりやすい「バイクと法令」 監修 警察庁交通局
原付用「学科試験模擬テスト集」



これから取る方にうれしい2冊
バイク「免許皆伝」!
もう取った方にうれしい1冊

お求めは…二普協加盟の二輪販売店で。



見る・見られる・いい運転。
●バイクは趣味もライフライン。
●バイクは安全です。スローインクダウン!

SERVICE

信頼される確かな技術力を養う
YTSヤマハ二輪車整備士講習会

いよいよ今年も「スターターナメント」地区大会が始まりました。各店の代表となったみなさんには、日頃、お仕事のなかで鍛え培ったお客さま第一の心、ヤマハ車を扱うプロらしい技術

を大いに発揮してガンバってください。しかし、いくら現場が仕事を覚える最高の場とはいえ、やはり基本が大切。新米サービスマンでなくとも、ひとつずつステップを踏んで正しい知識、正

確な技術を身につけたいものです。そのためにぜひご利用いただきたいのが「YTSヤマハ二輪車整備士講習会」です。基本中の基本を学ぶ「ベイシック」クラスから、最高技術を養成する「ドクター」クラスまで、あらゆるレベルに応じた内容で技術力アップのお手伝いをします。充実したサービスタップで、お客さまにより高い満足をご提供ください。

■YTSヤマハ二輪車整備士講習会日程

| 会場 日程 | 北海道 ヤマハ | 東北 ヤマハ | 関東 ヤマハ センター | 東京 ヤマハ 研修会館 | ヤマハ 中部 センター | 神戸 ヤマハ センター | 中国 ヤマハ | 四国 ヤマハ | ヤマハ センター | 福岡 ヤマハ センター |
|----------|-------------|------------|-------------------|--|-------------------|-------------------|--|------------------------------------|-------------|-------------------|
| '92年10月 | | | 4M 13-15 | | | | | | | 2M 13-15 |
| 11月 | | B 10-12 | 2M 10-12 | 2M 4-6 | 2M 10-12 | 2M 18-20 | | | | B 11-13 |
| 12月 | | | 4M 8-10 | 2M 16-18 | | | | 2M 2-4 徳島 2M 6-8 松山 | | 4M 9-11 |
| '93年1月 | 2M 28-30 | | 2M 19-21 | 2M 18-20 北陸 4M 21-23 北陸 | | | | | | |
| 2月 | 4M 1-3 | B 8-10 | 4M 23-25 | 2M 3-5 | 4M 17-19 | B 24-26 | | | | 4M 3-5 |
| 3月 | | | 2M 9-11 | 4M 10-12 | 4M 2-4 | | 4M 10-12 広島 4M 15-17 岡山 | | | 2M 3-5 |

B/ベイシック 2M/2サイクルマスター 4M/4サイクルマスター D/ドクター
※都合により開催日の変更および中止をする場合がありますので、ご了承ください。また、ベイシックは各拠点開催となりますので、各営業所へお問合せください。



SALES

「収穫の春」に備えて今から始動
じっくり仕込んで大きな成果を!

秋の需要期がようやくひと段落し、今年のバイクハイシーズンもそろそろクライマックス。あとひとがんばり、というところに差しかかってきました。目の前の忙しさに追われているうちに、一年はあっという間に過ぎてしまいます。今年を振り返るにはまだ早いです。来年のことを考

えるのに早過ぎることはありません。むしろ、毎年期待のニューモデルが数多く登場する春をにらんで、じっくり準備を整えていくためには、今から動き始める必要があるのです。例えば商圏調査や顧客、見込客リストの見直しなどは、いつでもやれそうな気がする割になかなか手を付けられ

ず、いざやり始めると随分時間と手間がかかるもの。結局、思いどおりのデータをまとめられず中途半端なまま見切り発車してしまつた……なんて経験はありませんか？
早目、早目の仕かけで、あわてずじっくりと「商売の展開を考えよう」。
まず、ニューモデルの概要がわかった時が最初のアプローチを起す時。速やかに見込客が選別できるよう、それまでに既存客のデータを見直しておかなければなりません。新規客に対してはお店の存在をしっかりと印象づけ

ておくことが必要です。そのためには今、何をしておくべきでしょうか。
お客さまとお店とのつながりをしっかり保って、あるいは掘り起こしておくこと、つまり積極的な外訪活動がそのひとつ。
ダイレクトに販売を考えた仕かけでなくとも、点検や遊びに誘って大いにお店をアピールしながらデータ収集。また、商圏内を改めてスミズミまで歩いてみるのもいいですし、「三ナイ」であきらめていた高校の様子を確認し

てみると、気づかない間に状況が変わっているかも……。ただし、常に何かを得よう、探そうと意識していなければ、情報は手元に残りません。お客さまとの会話ひとつ、町でみかけたバイク一台一台に留意してください。
発見はたくさんあるはずですよ。

Y. E. S. S.

安全への願いを込めて入賞作品決定 92セーフティスローガン&マンガ

交通安全、安全運転の大切さを、より広くより多くの人たちに訴えようと、Y.E.S.S.が住友海上火災保険㈱と共催で行なってきた『92Y.E.S.S.二輪車セーフティスローガンとマンガ募集』は、今年で5年目を数えました。

毎年、この趣旨に賛同する多数のみなさまのご応募をいただき、今年も7月31日の締切りまでにスローガンとマンガの両部門を合わせ8000点を上回る作品が集まりました。ご協力、ありがとうございました。つきましては、この中から厳正な審査のうえ、各部門ごとに1名ずつのグランプリ、および準グランプリ各2名、優秀賞各5名、合計16名の入賞者が決

定しましたので、お知らせいたします。

■セーフティスローガンの部
グランプリ/井上まゆみさん(千葉県)
『ライディング・マナーのよさがカッコよさ』

準グランプリ/蒲池正道さん(福岡県)
町田誠さん(山口県)

優秀賞/安達繁美さん(東京都)
後藤正美さん(愛知県)
伊藤かつらさん(三重県)
永木文彦さん(東京都)
志村省三さん(福岡県)

グランプリ/一橋菊児さん(大阪府)
『マナーの給油もあつたらエエな』
(作品は下に掲載)

準グランプリ/井上篤史さん(北海道)
上東秀子さん(広島県)

優秀賞/井出清隆さん(千葉県)
増山哲さん(東京都)
長谷川勝さん(静岡県)
増山正明さん(千葉県)
原田伊都美さん(山口県)

マナーの給油もあつたらエエな。



SUGO

バイクで走るか足で走るか SUGOの国際コース走り納め

世界グランプリが終わり、全日本選手権もいよいよ大詰め。秋のおとずれとともにレースシーズンはラストステージを迎えようとしています。SUGOでは、楽しかったシーズンの最後を飾る2つのイベントを用意しました。ひとつは、SUGOと同緯度にあるアテネにちなんだ『村田SUGOマラ

ソン』。高低差2800mのマラソンコース(サーキット含む)に、自分たちの足でチャレンジしよう企画したもので、42・195kmのフルマソンから10km、5km、3kmと4つのコースがあり、体力に合わせてエントリーできます。あくまで健康づくりを主眼としたイベントですので、どなたでも気軽に参

加いただけます。

また、ぜひバイクで走りたいという方には『ラストラップ92』がおすすぬ。インストラクターの先導でレーシングコースを自分の愛車でたっぶり走れ、3時間耐久ロードレースや地方選手権カートレースの観戦もできるという、モータースポーツ尽くしのメニューが魅力です。

●村田SUGOマラソン大会
日程/11月8日 10時スタート
クラス・参加費/フルマソン・3000円 10km・2500円 5km・2000円

5000円(中学生1000円) 3km・6000円 ※フルマソン15kmは中学生以上対象、3kmは小学生のみ。

申込締切/10月8日

●ラストラップ92 in SUGO
日程/11月15日・16日・泊2日
参加費/22000円(サーキット走行料、保険料、泊2食、パーティ、イベント費用含む)

申込締切/11月7日

詳しくは、SUGO東京店(☎03-3575-4777)、SUGO(☎0224-81-3111)までどうぞ。



A D

10月のヤマハ提供番組

■ONANDOFF

陸と海、2つの大きなフィールドを舞台に展開するすばらしいヤマハワールドの数かずを紹介する番組です。巧みなカメラワークを駆使した美しい映像と選び抜いたBGMで、話題性に富んだテーマをスポーツマイナードたっぶりお届けします。

▼10月3日『ヘマリン編』
『琢磨夫婦のSurf & Music』

▼10月10日『ハイイク編』

『エンジンチューナー・ケン松浦』

▼10月17日『ヘマリン編』

『エンジンチューナーの豪快な休日』

▼10月24日『ハイイク編』

『女性が作るバイク専門誌』

▼10月31日『ヘマリン編』

『こだわりカヌーライフ』

※都合により、一部内容が変更となる場合があります。
※一部地域では放送日が異なります。

テレビ北海道、テレビ東京、テレビ大阪、テレビ愛知、テレビせとうち、テレビエックス・エヌ九州/毎週土曜日18時30分から18時45分。静岡放送/毎週日曜日10時45分から11時、東北放送/毎週金曜日24時40分から24時55分。テレビ新広島/毎週木曜日24時35分から24時50分。

■素敵にドキュメント(新番組)

家庭や職場、あるいは学校での生活を、つねに豊かに彩る衣・食・住・旅・ショッピングなどの明るい話題や、社会の知られざる部分、真剣に考えなくてはならない問題を、さまざまな角度

から克明にレポートする、新しいスタイルのドキュメンタリー番組です。

テレビ朝日系列・全国19局ネット。
毎週金曜日21時から21時54分放映。

●オリジナルコンサート
私たちの創った世界

世界各国で精力的に活動を行っている(財)ヤマハ音楽振興会「ヤマハ音楽教室」そこで育った世界の子どもたちによる自作自演コンサートの模様をお届けします。日曜の朝をすがすがしく彩る純粋な音楽の響きをゆっくりとお楽しみください。テレビ朝日系全国17局

ネット・放送日/毎週日曜日。放送時間/7時30分から8時。

●ぼっくん王国(ラジオ)
ミュージックスタジオ

生ワイド番組「伊集院光のOH/デカナイト(22時~25時)のラスト20分間、10代の音楽フリークを対象としたアマチュアリズムたっぶりのラジオ番組です。月曜から木曜まで、曜日ごとに切り口を変えた楽しい企画で、アマチュアバンドを応援します。

ニッポン放送他15局ネット。

この勢いもろとも秋商戦へ！ YSP埼玉オータムツーリングin菅平

大学の体育会やサークルの夏合宿のメッカでもある長野県、菅平高原を舞台に、YSP埼玉支部主催による「YSP埼玉オータムツーリングin菅平」が9月12、13日の2日間にわたり開催されました。

台風の影響が心配された天気も、逆に一過の好天、YSP埼玉支部の9店の販売店さんから集まった170名の参加者が、強い日射し、涼しい風という絶好のコンディションでのツーリングを楽しみ菅平に集合。

午後からはアクセルをバッドに握りかえ、シヨップ対抗のソフトボール大会でエンジョイ。東京海上火災保険の協力イベントに駆けつけた国際A級ライダー、片山信二選手の始球式でプレイボール。ゲームの方はラグビーのスコアのような打撃戦あり、サヨナラゲームありと白熱。この勢いのまま夜のパーティへと突入しました。

ツーリング、そしてソフトボールの疲れもとへやら、最初の乾杯からヒートアップ。異常な盛り上がりを見せたシヨップ対抗ビール早飲み大会や片山選手の突然の参加もあったカラオケ



日頃のチームワークの良さと運動不足を再認識した？ソフトボール大会



ゲストの片山選手のサイン会は長蛇の列。突然のご指名があったカラオケもお上手でした



YSP西川口さんが行なったグッドライダー出陣式。この後川口署のみんさんが交通整理するなかを菅平に向けて出発

大会、ヤマハのブルゾンが当たった大抽選会とメニューの目白押しで、あっという間の4時間となりました。翌日は全員での記念写真で解散。シヨップ別に思いおもいのルートを取り帰路につきました。

またこのツーリングに60名もの参加者を動員したYSP西川口さんでは、出発時にグッドライダー出陣式を行いました。これは日頃から安全運転に対する意識を高め、グッドライダー宣言活動を推し進めている同店が、このツーリングを機に参加者全員に宣言をしてもらい、一層の安全運転を心がけてもらうことを目的にしたもの。この主旨に賛同した埼玉県川口警察署の警察官4名も出発当日集合場所に駆けつけ、スタートを見送ってくれました。

アウトドアの遊びを満喫 自然の中で「キャンプだっ。ホイ！」

サマーフェスティバル、アースリーランin信州など、'92 YESS サマーイベントはどれも大盛況のうちに終了しましたが、元氣なYESSは「行業の秋」にかけて楽しいイベントがまだまだ続きます。

澄んだ空気に晴れ渡った空が眩しい、岐阜県・揖斐高原月キャンプ場では9月12日・13日の2日間に渡り、ヤマハ中部機主催のYESSオフロードミーティング「キャンプだっ。ホイ！」を開催。名古屋地区を中心としたYESSスタッフとその家族の合わせて約70名が集まり、アウトドアの遊びを満喫しました。

特に、アースリーランin信州にもゲスト参加した清水ケンゾーさんが講師を務める「くんせい教室」や「竹トン

ボ教室」は大人気。オイルの空き缶を利用して「特製くんせい器」を使ってニジマスやチーズ、ソーセイジなどをつくんにしてスタッフ一同で試食



くんせい教室、竹トンボ教室のほかにも、パラグライダー教室やニジマスのつかみどりなど豊富なメニューが大好評



おにぎりを作ってくれた「YESS 3 人娘」作りながら食べてしまった量の方が多かったかも？

これか思っていたより(?)おいしくて、出来上がると同時になくなってしまう食べられなかったスタッフもいるほど……。

また竹トンボ教室のほうも、普段はナイフなどあまり握ったことのないスタッフが多いためか、危っかしい手つきで作っていましたが、清水さんのアドバイスのおかげで参加者全員なんとか完成。その後に行なわれた「滞空時間競技会」では出来たての自慢の竹トンボの行方に一喜一憂して歓声が上がっていました。

'93 IN 2500 ウォームアップ終了！ 専門誌試乗会開催

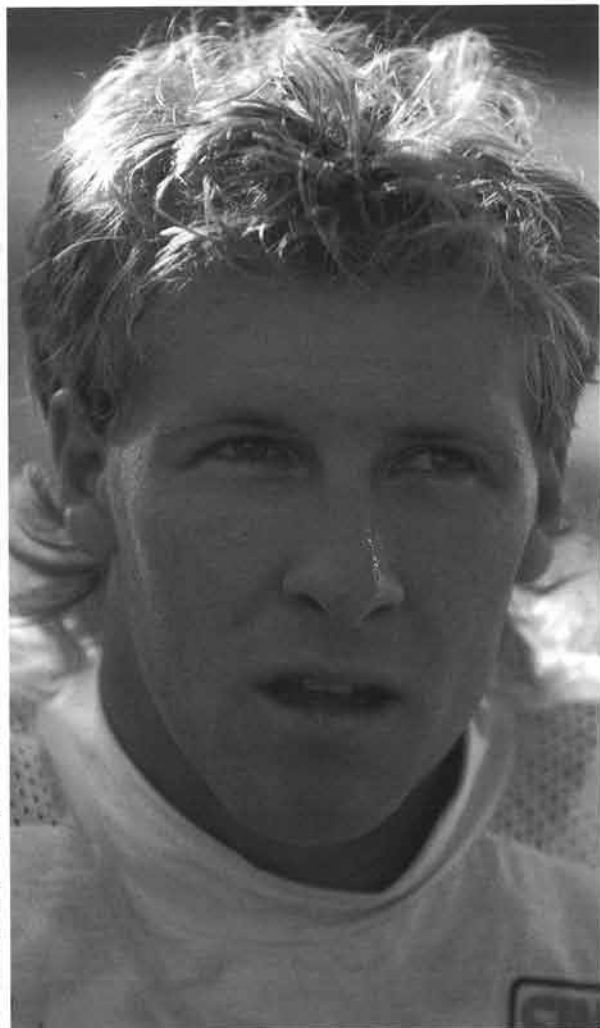
世界グランプリから地方選手権まで幅広いステージで多くのユーザーから信頼を集める市販ロードレーサーIN 250。この'93年モデルのプレス対象試乗会が、さる9月19日袋井市のヤマハコースで開催されました。

この日は川媒体約35名のプレス関係者が出席。①基本性能の更なる強化②扱い易さと高性能の両立③コストパフォーマンスの追求の3テーマを開発の狙いとした'93モデルの戦闘力に、試乗した専門誌テストライダー諸氏はエキサイトしながら評価を語っていました。

「とにかくキャブレションがいいのでマシンがコーナーで粘ってくれる。ガマンがきく。パワーと駆動力を微妙にコントロールできる」「ナチュラルなエンジン特性が印象的。ハンドリングも含めて全てがナチュラル。ライダーに伝わってくる挙動はすべて、これがオートバイとして普通の挙動なんだ」と実感できるから安心して走れる」とはこの日聞かれたコメントの一部ですが、いずれもIN 250の「進化&発展」を絶賛。詳しくは10月発表号各誌で紹介されることになっています。



この日は午前中ウェット、午後ドライで試乗には「恵まれた」コンディション。各紙誌ともウェット、ドライそれぞれでのポテンシャルを確認。



「Never give up!」こそ成功の秘訣だというシュミット。彼自身、その言葉どおり粘り強い走り、'90年の125ccに続く栄冠を勝ち取った

’92WMX250チャンピオン D・シュミットに直撃インタビュー 『来年もボクとヤマハのものさ!』

世界選手権モトクロス(WMX)で今年250ccクラス初参戦ながら最終戦を待たず圧倒的な強さでチャンピオンに輝いたD・シュミット選手が8月23日の日本GPを前にヤマハ本社を訪問。改めてチャンピオン獲得の報告を行ないましたが、その時、ヤマハニュースのインタビュにも快く応じ、彼は次のように語ってくれました。

「今、すくしあわせな気分だし本当にうれしいよ!」
でも、決して楽なシーズンじゃなかったね。125ccの時よりずっと速い連中がまわりにワンサカいるし、ボクは初めてのマシン、初めてのクラスなんだもの。
それと、序盤でいろいろトラブルが出たり、タイトルをまさに目前にした

時(第11戦フィンランドGP)は決勝前日に転んでお尻をしたたか打撲しちやったりしてね。
だからよけい、ラッキーだと思う。



強豪ぞろいのWMX250cc。来年もタイトルを取るために「マークすべきは、ムーアとパーカーだ」

シーズン中、一番印象に残っているのはドイツGPだ。8位、4位とだんだんランキングが上がって、ついにトップを奪ったレースだからね。
しかも、イタリアに続いて6ヒート連続優勝できた。

これは、マシンがすくく良くなったことと、ボク自身ようやくうまく乗れるようになったことが最大の理由かな。特にマシンはベリーグッドだ。エンジンがすくくパワフルでタフだし、なにより信頼性が抜群に高い。
YZ250Mが故障したのは、ただの1度だけ。スロットルワイヤーにトラブルが起きたことくらいさ。

だからこそ、ボクをはじめ何人ものヤマハラライダーが上位を占められたんだと思う。
来年も、もちろんボクは100%の力で臨むし、再びヤマハとともにチャンピオンを取れるようにガンバルよ。そのために、オフはアリゾナでしばらく体を休めたら、すぐにトレーニングを始めるつもりなんだ。
ぜひ応援してほしい」

泳いで食べて遊びまくった 四国の夏まつりin小豆島

前号でもご紹介したように、夏休みはやっばりYESサマーフェスティバルがどこも大盛況。
あいかわらず大勢のお客さまが、バイクやゲーム、マリンスポーツで思い切り夏を満喫していますが、ヤマハ四国株が8月1日、2日に渡って開催した「'92YESサマーフェスティバルin小豆島ふるさと村」もおよそ100名のお客さまが参加。瀬戸内の海に元氣あふれる歓声を響かせました。
昼間は、小さな島内をツーリングしたり、あるいは海で釣りや海水浴を楽しんだりと思いきいの夏休みを過ごした



バーティクイーンコンテストでは、男性スタッフのハイレグ姿など、ユニークな格好が笑いを誘った

94年Jリーグ入りめざし本格始動! 『ヤマハフットボールクラブ』設立

今年7月に開幕した日本フットボールリーグ(JFL・J部)で、ヤマハサッカー部は後半戦に入っても絶好調。いまだ負けなしの8勝2分け(9月6日現在)で、リーグ優勝へ向けて順風満帆というところですが、一方、来年5月から開幕する



社長にはヤマハ発動機の塩川信夫取締役が就任したが、設立にあたってはヤマハ発動機のほか県内22企業が資本参加し地域色を打ち出した

日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)の早期参加に対しても、いよいよプロチームの運営母体となる新会社『ヤマハフットボールクラブ』を8月21日付けで設立し、新しい大きな一歩を踏み出しました。

この新会社は、プロサッカーチーム経営のほかサッカー教室や指導者の育成、イベントの開催なども行なっていく予定で、従来の企業内スポーツという枠を取り払い、より地域に密着した形でサッカー普及をめざします。
また、課題のスタジアムについても、照明、スタンド増設などが進んでおり、Jリーグでの成績いかんでは'94年からJリーグ入り可能という声も聞かれるほど。ますます今年、来年のJリーグでの活躍が楽しみです。



人カスピード船部門は、200mの直線コースで速さを競う。『コギト1号』は44秒69で優勝

表選手にも選ばれた経歴を持つヤマハ社員がドライブしています。『フェニックスII』も全国大会にシードされ、優勝候補の筆頭と目されていますが、『コギト1号』は全国3会場で行なわれた地区予選の浜名湖大会で大会新記録を達成しての全国大会進出だけに、ヤマハ応援団の期待はひととき高いものでした。

しかし、本番のタイムトライアルで、『フェニックスII』が予想外の敗退、『コギト1号』は大きな期待とプレッシャーを受けてのレースとなりました。

それでも、決勝で2位に4秒差をつける快走をみせ、みごと運輸大臣杯を獲得。先日の人カ飛行機「極楽とんぼ」といい、今回の『コギト1号』といい、ヤマハはこんな技術と情熱、体力あふれる人たちに支えられているのです。



夢の競走をひと目見ようと3万5000の観衆が詰めかけた

人と技術の合体。パワーだ！ 『夢の船コンテスト』2連覇達成

世界でただひとつの手作り船でアイデアやスピードを競う『第2回夢の船コンテスト』全国大会（主催・日本船舶振興会）が、8月2日、東京・平和島競艇場で開催され、人カスピード船部門ではヤマハ社内チームの『コギト1号』が優勝。昨年の初代チャンピオン、『フェニックスII』に続いてヤマハ艇が2連覇を飾りました。

『コギト1号』は、1名の乗員がペダルを漕ぐことによって水中プロペラを駆動させて推進する排水量型ボート。カーボンファイバーを使用した軽量船体に特殊フィルムを貼って水の抵抗を減らすなど、小さいながらも高度な造船技術を投入し、ロス五輪のボート代表選手にも選ばれた経歴を持つヤマハ社員がドライブしています。

市街路、悪路もラクラク走破！ XTZ660Sで世界一周

最近、日本や諸外国でも海外ツーリングに出かけるライダーが増えているようですが、今年の夏、ヤマハ本社を訪れたドイツのヤマハディーラー、ブリエルさんもそうした人のひとり。愛車XTZ660Sを駆り、6月3日友人と2人でパリをスタートしたブリエルさんは、ヨーロッパ諸国からシベリアを経由してアメリカのロサンゼルスへ渡る途中、「XTZの生みの親、ヤマハ本社を訪ねよう」と7月に来日しました。

「旧ソ連邦（独立国家共同体）の道路状態は非常に悪く、ハイウェイといっても100kmが舗装されていない道で、まるでオフロード走行しているようでした。」

しかし、XTZは信頼性が高く、1日500km、合計1万5000kmに及ぶ大陸横断も大きなトラブルを経験することなく無事に走り切れました。

おかげで、途中いろいろな人とめぐりあったり、旅の醍醐味を充分満喫できました」と、ブリエルさん。

これから2人は、予定どおりロサンゼルスへ渡ったあと、アメリカを西から東へ横断してドイツへ帰る予定です。



66年前、同じドイツの有名なジャーナリストが350ccのバイクで走ったルートをたどるのが、ブリエルさん(左のライダー)たちの目的

'92 YAMAHA NOVELTY

手許にシックな装い

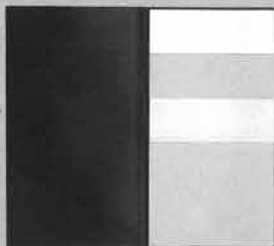


■ブリーフケース
(No.373083/1,800円)
A4サイズまでの書類やノートが入るスマートでカジュアルなケースです。YAMAHAロゴがさりげなくライダーマインドを主張します。



■ポストイット手帳道具 (No.373071/360円)
伝言やメモに大活躍のポストイットが1冊の手帳にまとまりました。持ち運びにもとっても便利なメモバックにひとつづつ常備しましょう。

■システムダイアリー
(No.373072/3,800円)
メモバックの優しい手ざわりと薄い花柄装束のリフィールは女性にぴったり。カラーもファッショナブルな赤と青の2色が揃っています。



■スタンデックス
(No.373065/1,500円)
シャープペン、ラインマーカー、ボールペンがひとつのボディにすっきりセット。吸盤付なので、机の上や壁面など好きな所に設置できますね。





歓喜のシャンパンを自らに浴せる難波。*次は2人を従えて*と意欲的だ



シケインの切り返し、わずかな直立状態でもカウルに身をふせマシンを加速させる



●全日本ロードレース選手権シリーズ第8戦・富士大会 おめでとー 難波恭司A級初優勝

原田哲也、岡田忠之の息詰まるバトルが続いてきたGP250ccクラス。原田2勝、岡田3勝、同着一回と6レースを2人で分け合ってきたが、第8戦では両選手が序盤から姿を消すという波乱含みのレースとなった。

このめまぐるしくトップが入れ替わる激しいレースを制したのは、原田と同仕様のTZM250を駆る難波恭司。A級に昇格して7年目の劇的な初優勝だった。

レースは原田が先行した。背後につける岡田とのバトルが予想されたが、3周目に原田が後続を引き離しかかる。徐々にリードしていき、独走体制に入りかけた6周目、ストレートエンドで突然のスローダウン。そのまま無念のリタイヤとなってしまう。

これでトップに立った岡田だが、今度はその岡田が11周目に転倒・リタイヤ。レースの行方がわからなくなった。

予選3番手からスタートした難波は、原田がトップ走行中には9番手と遅れていたが、ハイペースで追い上げ、青木、匹田のトップ争いに加わった。難波の走りに沸きあがるスタンド。その声援を受け、13周目ついにトップに立った。

チェッカーを受けるまでハラハラしたという難波の言葉どおり、青木との接戦は最後まで続くが、ラストラップに青木をつき離れた難波は、1秒ものアドバンテージを保ち、ノービス時代以来7年ぶり、A級昇格後初のチェッカーを受けた。

シーズン前のテストでは原田を上回るタイムを記録していたといわれながら、ケガで本来の走りができなかったが、終盤に入り体調も万全となり、これからの意気込み難波。原田、岡田の2強に加わり後半の台風の目となるか。残り4戦、タイトル争いに大きく影響しそうな走りに注目したい。

●全日本ロードレース選手権

- 第8戦・富士大会(8/8)
(500ccクラス)
①D・ビーティ ②K・マギー ③伊藤真一
④藤原慎彦 ⑤龜田竜二 ⑥岩崎健一郎
(250ccクラス)
①難波恭司 ②青木宣馬 ③青木拓磨
④宮崎敏 ⑤佐田慎智 ⑥沼田憲保
(F-1クラス)
①柳川明 ②塚本昭一 ③武石伸也
④青木正直 ⑤北川圭一 ⑥大坂賢治

●世界選手権ロードレース

- 第12戦・ブラジルGP(8/23)
①W・レイニー ②J・コシンスキー
③D・チャンドラー ④W・ガードナー
⑤M・デュハメル ⑥A・クリビール
第13戦・南アフリカGP(9/6)
①J・コシンスキー ②W・ガードナー
③W・レイニー ④D・チャンドラー
⑤K・シュワツツ ⑥M・ドラーバン

Racing RExpress



「大変な1年だったけど、来年も250で頑張りたい」とランキング2位のムーア

WORLD
MX
●世界選手権モトクロスシリーズ最終戦・日本GP
D・シュミット、R・ムーア
ランキング1・2で幕

ランキングテーブルを独走していたD・シュミットが最終戦を待たずしてチャンピオンを獲得したため、8月22、23日に行なわれた最終戦、日本GPの興味はシュミットと同様、R・ムーア、A・ブザールと、これを追うE・エバートセンによるランキング2、3位争いに集まった。ムーア343ポイント、ブザール319、エバートセン315と、3ヒートで十分にランキングが入れ替る僅差で抑えたヒート1だが、レースは予選から好調のP・ヨハンソンがリードする。これに続いたのがムーア。序盤から激しいチャージでトップを狙うが、4周目にコースアウト。結局3位でゴール。ヨハンソンはその後キドラウスキーの追撃をかわし、今季初優勝を飾った。エバートセン4位、ブザール6位、2人の差は1ポイントに縮まる。

ヒート2はキドラウスキーの独走。エバートセンが2位。ブザールは5位に終わり、2人のランキングが入れ替る。ムーアは1周目に転倒、後続車のためマシンに近よれず最後尾からの再スタート。泥まみれになりながらも最後まで粘り強い走り、15位。貴重な1ポイントを獲得。ランキング2位への執念を見せた。

ヒート3、ここでムーア、ブザール、エバートセンが直接ぶつかり合った。先行するエバートセンをムーア、ブザールが追う。トップを狙うムーア、4周目に転倒、6番手で再スタート。ランキング2位の座を守るため、懸命の走りが続く。

ムーアの後退で楽になったエバートセンの独走かと思われたが、終盤になってブザールの追い上げが始まる。エバートセンを抜いても、ランキング上では逆転できないにもかかわらず、4秒程もあつた差を詰め、ラスト4周でこれをかわしてトップに。後続を引き離しても決してアクセルをゆるめない。テールが流れようが、フロントがロックしようがおかまいないの激しい走りが続く。今シーズンケガやマシントラブルでタイトル争いから遅れていた無念を吹き飛ばすかのような今シーズン最後のヒートでの優勝だった。ムーアは7位。6ポイント差でランキング2位を守り切った。

ヤマハ勢のランキング1・2・3位独占こそ逃したものの、ムーア、ブザールの走りは日本のモトクロスファンに世界の走り、ヤマハのポテンシャルを十分にアピールできたに違いない。

またランキング争い以外のもう一つの見



ランキング3位は奪われたもののヒート3ではヒザの痛みをこらえて優勝したブザール。声援に応え、見事なシャンパンファイトを演じてくれた

●世界選手権モトクロス

第11戦・フィンランドGP(8/8)

- 〈ヒート1〉
①S・エバーツ ②R・ヘーリング ③M・ベルブーツ
〈ヒート2〉
①R・ヘーリング ②S・エバーツ ③E・エバートセン
〈ヒート3〉
①E・エバートセン ②J・ドップ ③B・マンネ

第12戦・日本GP(8/23)

- 〈ヒート1〉
①P・ヨハンソン ②M・キドラウスキー ③R・ムーア
〈ヒート2〉
①M・キドラウスキー ②E・エバートセン ③T・パーカー
〈ヒート3〉
①A・ブザール ②E・エバートセン ③J・スタントン

Racing
Express
RE



●全日本トライアル選手権シリーズ第5戦・北海道大会
**伊藤敦志、懸命な追い上げ
 頑張れ！ヤマハチーム**

シリーズ第4戦・東北大会では、後半に猛然と追い上げを見せ、5位に食い込み、調子が上がってきたかのように見えた昨年のチャンピオン中川義博。

8月23日に行なわれた第5戦では、1ラップ目こそ9位につけたものの、2ラップ目以降に調子を乱して18位で競技を終えた。シリーズランキングも5位から6位へと一歩後退。

一方、伊藤敦志は1ラップ目には24位と大きく出遅れたものの、2ラップ目以降は集中力のあるトライアルをみせて12位に入った。

この北海道大会では、昨年、伊藤がニューマシン「TYM」に乗って優勝を成し遂げた相性のいい大会でもあっただけに、今回の成績は残念だ。

伊藤自身も「体調は悪くないが、1ラップ目があまりにも悪すぎた。結果が全体的に、ゼッケン・ナンバー2の意地を残された2戦で見せてほしい。」



「TYM」とのマッチングも余々によくなってきた」と伊藤



予選でトップタイムをマーク。ヒートでもその勢いをかり、今季初優勝のヨハンソン



「アメリカラウンドではやられたからね」スタントンとの対決に意欲的なシュミットだったが...

どこであつた、チャンピオンD・シュミットと、AMAスーパークロスチャンピオン、J・スタントンの対決だが、シュミットがヒート1、ヒート2ともにスタート直後に転倒。ヒート2で右腕を痛め3ヒートは出走できなくなり、2人のチャンピオンの対決はおろか、シュミットは本来の走りを日本のファンに披露することができずにレースを終えてしまった。「ひどい週末だったよ」と苦笑いするシュミットだが、祝福にかけつけた多くのファンが求めるサインに気軽に応じ、痛めた右手を差し出していた。

なお、スウェーランドSUGOで行なわれる全日本MXの最終戦にシュミットがムーアとともに参戦する予定。6ヒート連続優勝した走りに期待したい。

●全日本トライアル選手権

第5戦・北海道大会(8/23)

- ①P・クトゥリエ ②泉裕朗 ③江藤晴幸
 ④小谷徹 ⑤内田哲也 ⑥三谷英明



YSP福生さん

東京都福生市
渋谷 巽 社長

「乗らぬなら、乗らせてみよう……」
ライダー気質の変化に対応し
アノ手コノ手の「乗らせる」仕掛け





YSP合同ツーリングの開催の前に、準備も大詰めの渋谷社長。「あとは天候だけが心配ですね」



アースリーランin信州の帰りは、渋谷社長の誘いで少し速まわり。「走ってもらったことが、バイクの楽しみを分かってくれただけの方法」——これが特論



初心者の女性ふたりを連れて、赤城山への個別ツーリングにも出かけた。忙しい渋谷社長には大きな負担だが「これでツーリングファンが増えてくれれば」と言う

ある日、渋谷社長のもとへ、ふたりの若い女性のお客さまが相談にやってきました。特別お店と親しくしているわけでもなく、ツーリングクラブに所属しているわけでもない21歳の大学生と、24歳の主婦が渋谷社長と訪ねてきたのである。

相談の内容は、ツーリングに行きたいんだけど、ふたりだけでは不安だから最初だけでも一緒に走ってもらえないだろうか、というものだった。聞けばその21歳の大学生と24歳の主婦は、高速道路さえも走ったことがないのだという。

そこで、渋谷社長はお店の定休日である水曜日にふたりを誘い、赤城山までのワンデーツーリングに連れていった。当日は高速道路

の安全な走り方や点検の方法、さらにはツーリングの楽しみ方を教えながらの珍道中だったそうだ。

「こうして相談に来てくれればいいんですけど、彼女たちは稀なケースですね、店の方から誘わないと外に出て来ないし、誘ってもひと昔前のような反応がない。だからと言って放っておけば、必ずバイクの面白さを知らないうちにやめてしまいますから……」

自分のお店で購入してくださったお客さまには、できるだけバックアップをしてあげたい。しかしお店の思いとは裏腹に、お客さまからの反応は年々少なくなっている。こうしたジレンマに、渋谷社長の言葉も歯切れが悪い。

このようなライダー気質の変化は、どこのお店でも感じていることだろう。YSPメンバーズクラブ西東京支部のミーティングでもよく話題に上がるからだ。そんな中から「店同士の垣根を越えて、合同ツーリングを計画してはどうだろう」という声が上がってきた。そしてツーリング部会のリーダーに推されたのが、渋谷社長なのである。

18店のYSP店が合同で行なうツーリングは、去年の5月からスタートして、現在まで3回開催している。参加人数も最初が40人、次に60人、そして80人と回を重ねることに増え、イベントとしてはますます大きく成長しそうな気配だ。渋谷社長は、こうした大規模なツーリングを、副リーダーを務める「YSP東小金井」さんの竹内店長とのコンビで企画してきた。

「本当はね、私個人の意見としては、3人ぐ

らいで行くツーリングが一番楽しいんじゃないかと思うんです。毎週走りに行く人たちはなんかは、みんな2〜3人で走ってますからね。ただそこまで育ってもらったためのお手伝いを、売った店としてはやってあげたい。この合同ツーリングの目的もそこにあるんですよ」

いま、渋谷社長が一番の悩みは、時間不足にあるという。日常の「商売をしながら、お客さまのバイクライフを支援するには、あまりにも時間が足りないというのだ。本来、冒頭の女性たちのようなお客さまのバックアップをもう少しやるべきなのだが、時間がそれを許してくれない状況にある。

野本与志雄さん、39歳。TDM850に乗るこのお客さまは、渋谷社長の古い友人でもある。渋谷社長が「全幅の信頼をおける方」というだけあって、その運転技術や人柄は群を抜くものがある。「YSP福生」さんにとってはオビニオン・リーダー的な立場の大切なお客さまだ。

「この方ね、私が自分でできない分、初心者の人をツーリングに連れていってもらったりにしてるんです。本当に面倒見よくやってくらってますから、とても感謝してますよ」と渋谷社長。

「店としては野本さんにできるだけ負担をかけないように、コースの設定や保険の管理だけしています」ということだ。

「とにかく買って間もないバイクを、ガレージの中にしまっているお客さまが多い。そういう方たちを誘い出してあげることから、ひとつひとつ積み重ねていきたいと思います」

渋谷社長がすすめるYSP合同ツーリングは10月3〜4日。現在は最後の準備に大忙しの毎日だ。



開店10年を機にショップのフレッシュアップ 商圈の拡大と世代交代を見越したリニューアル

YOU SHOP おおすみ 兵庫県川西市萩原台東1-295 ☎0727-57-3443

商圏を分析して 「守り」「攻め」に色分け

「ここに店を開いて10年になる。幹線道路が伸びれば、街は変わる。息子もちょうどヤマハ奨学制度を終えて戻ってきた。今がいい節目だと思うてな」
街は時を重ねて落ち着きを見せる一方で、新たな開発に表情を変えていく。その流れに、ショップの時も重なっていく。

今回のハローナイスショップは、変貌する街の中で、世代交代という節目を迎えた「YOU SHOP おおすみ」さんを紹介しよう。

お店があるのは兵庫県川西市。阪急電車で大阪・梅田駅から30分、大阪中央部へのベッドタウンとして開発が急速に進む町だ。

近代的なショッピングセンターが建設され、トレンドイドラマの舞台のように装う川西能瀬口駅。お店は駅からクルマで10分ほど、急勾配の斜面を造成して住られた住宅団地の一角に位置していた。

「ウチの店の商圏は近郊の3つの住宅団地が中心。どこも斜面に開かれた住宅団地や」大角俊文社長(49歳)はこう話す。

団地が分譲されてから、もう20年ほどになるとか。一軒一軒の敷地が広く取られる住宅は、20年の時を経て落ち着いたたすまいを見せていた。

「まさきに開かれた萩原台団地の住人はもう子供らが独立して老夫婦が多い。独立した子供たちは戻ってこんから、年齢層は高いね」

商圏を熟知することは商売の基本 資料を駆使して、住民像を浮かび上がらせる

萩原台団地に土地を買い、家を建てて住んでいた大角社長。脱サラしてバイクショップを始めて10年、いま街の変化とともにお店自身にも転機が訪れている。

「商圏の延長上に新しい住宅団地が造成されている。しかもその団地とウチ、そして駅までを連絡する幹線道路が計画されている。」

画されていて、完成予定が平成7年ということや、幹線道路が店の前を通る影響ははかりしれない」

新団地道路の建設。時を同じくして、長男の竜也さん次男の信仁さんの二人がヤマハ奨学制度を終えて戻ってきた。「ちょうどいい機会だ」将来を見通して、大角社長はお店のリニューアルに

着手した。同時に、それまでの「サイクルショップおおすみ」から「YOU SHOPおおすみ」にお店の形態も大きく変えた。

「新団地ができれば可能性は広がる。道路が通れば店の前が賑やかになって商売上は好都合や。でもね、駅と直結されることで新規店の参入もあるかも

しれん。だから、手を打つのは今だと思っ」

住宅街にあるバイクショップ、リニューアルのテーマは「明るく、新鮮」だった。

間口はできるだけ広く、店内は天井を高くとって「のびのび感」を強調した。広くなった店内には電気店のアド

街の変化とバイクショップにも新風

大角社長は商圏を分析して「守りの地区」「攻めの地区」と色分けしていく。「守りの地区」には代替えを期待して、定期点検のダイレクトメールを送付する。「攻めの地区」ならお店の名前を前面に出したスクーターのカタログを、ダイレクトメールや新聞の折り込みチラシに乗せて各家庭に配付するのである。

「商圏を知ることが商いの基本」というだけあって大角社長の商圏分析はじつに細かい。人口の推移をはじめ、家族構成にいたるまでが住宅団地の各區「画」ごとに分析されていると言っても過言ではない。

坂が多くスクーターが日常の足として欠かせない環境ではあるが、爆発的な新規需要は望めない、と大角社長は読んでいる。一方、萩原台団地の周囲に広がる住宅地は、固定層に加えて若い家庭が多いそうだ。



修理の途中でも来客があるとすぐに対応にでる。細かい作業だが徹底したお客様第一主義の表われ



「オヤジ」人の頃は手が足りなくて、3人体制の今は、電話一本ですぐに出張できるようになった



「駅でバンク」の知らせに駆けつける。「毎日使うものだから助かります」とお客様



竜也さんが戻ってきてから、若いお客さんが増えたという。「若い人たちが遊びに来てくれるのは嬉しいです」



「オヤジのお客さんを大切にしながら、将来はスポーツバイクも手がけたい」と信にさん



「もう70%は息子に任せておりますよ」と笑うが、俊文社長を頼ってくるお客さんも多い。まだまだ現役



夕方ともなると、店の軽トラックはフル稼働。機動力も同店のウリだ

来てくださったお客さまには、小さなものでもいい、感動をひとつ持って帰っていただけるように心がけています

バイクを受けて、蛍光灯の数も大幅に増やした。

「バイクショップの古臭いイメージを拭いたかった。とくに奥様方に気軽に入ってもらえるような店を目指したんや。将来、店の前の通りにバスが頻繁に通るようになったとき、バスの乗客が「ちょっと寄ってみようか」って思うような店をね」

心機一転をはかったのは店舗ばかりではない。大角社長はお店を長男の竜也さんに譲ったのだ。

「店を継いでもらうことを考えたら、もう前面に出してお客さまと接することが一番や。息子にはほとんど前に出てもらって、7割方は任せとる」

「商売を一任された竜也さんは、まず最初に造成されている住宅団地に足を運んだ。竜也さんの話――」

「入居が始まった団地の住民を調べにいったんです。一軒一軒庭を覗いて。

それでわかったのはバイクを持っていく家庭が2割ほどしかないってことでした。よし、それならウチの店が開拓できる余地はいっぱいあるぞ、と」

まず最初に行なったのはスクーターのチラシをポスティングすることだった。「スクーターのラインナップチラシは思

いのほか効果があがらなかった。いま考えているのは、店の特徴やPRを前面にだしたチラシです。「トラブルがあったら電話一本で出張しますよ」こんなチラシで店の名前を覚えてもらうことを考えています」

常にお客さまの立場に立った心あるサービス

「売る側の人間として忘れてはならないのは、常に買う人間の気持ちに立つこと」と大角社長は言う。そんな大角社長がとくに認めるのは、息子さんたちがお客さまに接する態度である。

「お客さまの主体が主婦なもので、メカニズムに弱い。わけがわからない修理をされて、ハイ何千円、って修理代要求されてもお客さまは気分悪いだけですよ。どこがどう悪いんか、キャブレターという言葉がわからないなら霧吹きを原理から教えてあげることが必要ですよ」と竜也さん。

接客には父親も一目置く竜也さんには一つの商売哲学がある。

「来てくれたお客さまにはどんなことでもいい、小さな感動でもいいから持って帰っていただけるように心掛けています」

例えば、と竜也さんは例を挙げる。オイルを買いに来てくれたお客さまには、タイヤの空気圧も見えてあげる。修理で持ち込まれたバイクにはブレーキ調整や洗車、ワックスをかけてお客さまに手渡す。ちょっととした心づかい、心のプラスアルファのサービスだ。

「ウチは個性を売る店じゃない。なにげないサービスこそが店のアピールなんです」

と信にさんも付け加える。

世代の違いは、ときに衝突も生む。ぶつかりあったとき、父親は息子たちの前向きな姿勢に一步ひく。逆に息子たちは、

「売上げが伸びれば『俺たちもがんばった』と親父に言える。次の要求もできる。でも、いまは売上げは横バイ状態だから、まだまだ言える立場やない」と父親の背中を追っている最中だ。

節目を利用して、リニューアルにチャレンジしたお店。新風が吹き込んだお店は変貌する街でひととき新鮮に映った。

ハローナイスショップ
Hello
 NICE SHOP



■YOU SHOP おすすめ

大阪方面へのベッドタウンとして注目される川西市。人口18万の市の中心、阪急線・川西能瀬口駅からほぼ2kmの開静な住宅街に立地している。斜面を切り開いて開発された街だけに、急な坂道が数多い。今年3月にYOU SHOPとなり、同時に店舗のリニューアルにも手をつけた。

●オープン：昭57年2月 ●店舗規模：63坪の敷地に店舗と住宅。店舗スペースは23坪、うち7坪をサービススペースに充てる ●展示車両：ショールームスペースにスクーター新車9台、SRV 1台。店舗前オープンスペースに新車スクーター10台を展示 ●商圏：近郊の住宅地を中心に、半径約2キロ ●客層：主婦層 ●クラブ：お店が管理するクラブはない ●営業時間：午前9時から午後7時半 ●定休日：毎週水曜日



床を掘り下げ天井を高くしたショールーム。接客カウンターはこの右奥

店内に入るとまずショールームの明るさに気づく。採光が十分なうえ、蛍光灯も多めに備えつけられている



殺風景になりがちな白い壁はポスター以外にポップ調の絵と観葉植物で飾られている

